

健 康 課

1 実習生指導

三重県立看護大学をはじめとする学生の地域看護実習の場として、実習指導を行い、人材育成に寄与した。

学生区分	回数	延べ人員	実施期間
看護学生実習指導	16回	37人	7～1月

2 地域活動育成事業

健康課が実施した健康教室修了者を中心に、地域での健康づくりを自主的、積極的に実践するため、妊婦から高齢者に至るまでのそれぞれのライフステージに適応したネットワークづくりと健康づくり広場の提供等、市民の活動を支援する環境づくりに努めた。（事業費 167,689円）

区 分	対 象 者	回 数	参加者数	サークル数
運動教室OB会	教室修了者	149回	4,867人	4（センター、二見、小俣、御菌）
健康づくりアドバイザー	〃	4	55	
いきいきクラブ	〃	15	616	
脳活性化教室OB会	〃	90	1,470	7（センター5、老人クラブ2）
転倒骨折予防教室OB会	〃	93	1,644	5（センター2、老人クラブ等3）
育児サークル	子育て中の保護者	122	1,705	8（センター3、二見1、地域4）
わくわく妊婦の会	妊 婦	10	42	1（二見）
計		483	10,399	

3 献血推進事業

三重県赤十字血液センターと相互協力の上、献血の推進を図るとともに、事業所等各会場で献血事業に取り組んだ。（事業費 108,234円）

(1) 採血状況

日 数	会 場 数	申込者数	採血者数
41日	89箇所	1,889人	1,658人

4 健康文化都市推進事業

生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざし、健康文化都市宣言及び健康づくり指針を策定した。また、健康づくり指針に基づき、健康文化都市推進事業シンボルマークの決定、健康づくりアドバイザー養成講座、ウォーキング大会等を実施した。（事業費 2,525,946円）

区 分	実施場所	回 数	延 べ 人 数
健康づくりアドバイザー養成講座	中央保健センター	6回	189人

ウォーキング大会、実践講座	皇學館大学体育館 他	8	335
---------------	------------	---	-----

5 救急医療推進事業

一次救急医療事業委託

休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、救急医療体制を確保するため、市民に救急業務に関する正しい理解と知識を深めてもらうよう周知に努めた。

また、突然の心停止時に早期に対応できるよう、救命措置に必要なAED（自動体外式除細動器）を市の主要18施設に設置するとともに、市民が参加するイベントなど、一時的に必要なときに活用できるよう貸出用も配備した。（事業費 3,858,780円）

6 食生活改善対策事業

健康づくりの推進の基本となる日常の食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成及び推進員を中心とした地域住民の自主的な活動に対する支援を行った。

（事業費 972,821円）

区 分	対 象 者	回 数	参 加 者 数
食から出発健康セミナー	市 民	8回	129人
ヘルスメイト料理講習会・伝達講習会	”	120	2,894
保健事業への協力	”	63	247

7 予防接種事業

予防接種法及び結核予防法に基づき、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、市内及び県内の医療機関において各種予防接種を実施した。

また、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上に努めた。

なお、4月の法改正に伴い、麻しん・風しんについては、年齢による接種対象の範囲であっても、どちらか一方を接種済み、または罹患していれば定期接種の対象とはならなかったため、任意接種を受けた者に対しBCG任意接種同様救済措置として費用の一部を助成した。（6月の法改正により定期接種となったため、助成制度は廃止。）

（事業費 135,706,032円）

予防接種区分	対 象 年 齢	時 期	人 数	金 額
二 種 混 合	（2期）11歳～13歳未満	通 年	719人	3,601,471円
三 種 混 合	生後3か月～90か月未満	”	4,317	31,505,460
日 本 脳 炎	（1期）3か月～90か月未満	”	748	4,385,808
	（2期）9歳～13歳未満	”	10	
ポ リ オ	生後3か月～90か月未満	”	2,112	14,315,136

MR (麻しん風しん混合)	(1期) 1歳～2歳未満	〃	1,193	14,393,545
	(2期) 5歳～7歳未満で小学校就学前1年間	〃	1,059	11,331,300
風しん	(1期) 1歳～2歳未満	〃	12	103,704
	(2期) 5歳～7歳未満で小学校就学前1年間	〃	3	21,831
麻しん	(1期) 1歳～2歳未満	〃	0	0
	(2期) 5歳～7歳未満で小学校就学前1年間	〃	0	0
インフルエンザ	・65歳～ ・60歳～65歳未満 (予防接種施行令で定める障害を有する者)	10月15日～ 1月31日	16,038	40,297,000
BCG	生後直後～6か月未満	通年	1,083	9,502,242
BCG助成 (任意接種)	生後6か月～12か月未満	〃	4	26,260
麻しん・風しん 助成(任意接種)	(1期) 1歳～2歳未満	4、5月	6	49,726
計			27,304	129,533,483

8 老人保健事業

老人保健法に基づき、壮年期死亡の減少と介護予防の推進のため、生活習慣病予防を中心に次の諸事業を実施した。

(1) 健康づくり教室事業

(事業費 854,712円)

区 分	実 施 場 所	回 数	延べ人数
運 動 教 室	中央保健センター 二見老人福祉センター	11回	446人
疾患別健康教室	ハートプラザみその	6	179
こころの健康づくり教室	〃	3	71
地域・団体等の要請による生活習慣病予防等	中央保健センター 市内各地域	9	484
計		29	1,180

(2) 健康相談事業

(事業費 1,035,811円)

区 分	実施場所等	回 数	延べ人数	備 考
総合成人健康相談	中央保健センター	22回	148人	
	市内各地域	164	1,164	小俣・御菌保健センター、各地区コミュニティセンター、公民館等

	各種教室	67	805	中央保健センター、公民館等
重点健康相談	疾患別個別相談	15	15	中央保健センター
	栄養相談	13	26	中央保健センター、ハートプラザみその等
計		281	2,158	

(3) 健康診査事業

(事業費 488,140,520 円)

区 分	実 施 機 関 等		計	金 額
	集 団	医 療 機 関		
基本健康診査	545 人	26,227 人	26,772 人	278,497,300 円
訪問基本健康診査	—	164	164	
介護家族訪問基本健康診査	—	7	7	
精密検査（眼底分再掲）	—	736	736	3,103,040
腹部エコー（超音波検査）	—	1,871	1,871	7,047,750
骨粗しょう症 検 診	腰 椎 D E X A	—	96	3,321,620
	腰 椎 以 外	217	1,807	
肝 炎 ウイルス検診	節 目・節 目 外 検 診	137	2,466	7,293,361
胃 がん 検 診	透 視	369	1,850	120,074,340
	内 視 鏡	—	7,724	
子宮がん検診	頸 部	428	3,751	18,794,820
肺 がん 検 診	X 線	1,318	9,060	16,635,540
	喀 痰（再掲）	44	527	
大 腸 が ん 検 診		480	14,327	16,734,860
乳 が ん 検 診		975	1,960	10,063,100
前立腺がんマーカー検査		100	2,103	4,628,270
計（受診者再掲除く）	4,569	73,413	77,982	486,194,001

(4) 歯周疾患検診事業

歯の喪失を予防するため、40～50歳、55歳、60歳、65歳の市民を対象に、歯周疾患検診を6～10月に実施した。（事業費 5,182,219 円）

区 分	実 施 機 関	延べ人数
歯周疾患検診	市内各歯科医院	1,908 人

(5) 訪問指導事業（事業費 1,224,282 円）

区 分	訪 問 指 導 人 数	
	実 人 数	延 べ 人 数
健康診査の要指導者等	195 人	195 人

がん要精検未受診者	314	323
閉じこもり予防	139	187
介護家族者	104	124
寝たきり者	75	81
認知症	11	19
国保多受診者	13	13
精神疾患・その他	29	124
計	880	1,066
栄養指導（再掲）	30	39
口腔衛生指導（再掲）	54	56
訪問機能訓練（再掲）	38	49

(6) 健康手帳交付事業

(事業費 569,925 円)

医療受給資格者	医療受給資格者以外	再交付	計
14 人	2,828 人	2,363 人	5,205 人

(7) 機能訓練事業

(事業費 4,810,813 円)

区 分	実施場所	回数	延べ人数
リハビリ教室	中央保健センター	197 回	1,378 人

9 老人保健事業以外の健康診査

(1) 高齢者歯科健診事業

寝たきり等の状態の者に対し、口腔保健の向上のため、歯科医師による訪問事業を実施した。
また、歯の喪失による口腔内機能の低下を予防するため、70 歳の市民を対象に口腔内総合健康診査を実施した。(事業費 881,221 円)

区 分	実施機関	延べ人数
高齢者歯科訪問健康診査	市内各歯科医院	22 人
高齢者口腔総合健康診査	〃	196
計		218

(2) 結核検診事業

結核予防法に基づき、市内各所での検診車による集団検診と、市内実施医療機関での肺がん検診と同時に個別検診を行った。(事業費 143,900 円)

検診方法	対象年齢	撮影者数	有所見者	実施場所
集団（間接撮影）	65 歳以上	1,318 人	0 人	83 会場
個別（直接撮影）	40 歳～69 歳	9,060	0	市内実施医療機関
計		10,378	0	

10 介護予防事業

介護保険法に基づき、高齢者の健康づくりと介護予防の推進のため、次の諸事業を実施した。

(1) 一般高齢者施策事業

65歳以上の全ての高齢者を対象に、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるよう、介護予防に関する知識の普及・啓発を行ったり、地域における自発的な介護予防に資する活動の育成や支援を行った。

①介護予防普及啓発事業（事業費 1,258,308円）

区 分	実 施 場 所	回 数	延 べ 人 数	備 考
介護予防講演会	中央保健センター	3回	133人	
すこやか教室	中央保健センター、市内各地域	42	1,045	老人クラブ対象
通所型介護予防事業	中央保健センター	83	404	転倒骨折予防教室 226人 脳活性化教室 142人 栄養改善教室 8人 口腔訓練教室 28人
訪問指導	各 家 庭	98	151	介護予防のための生活改善指導等
地域や団体からの要請による介護予防等	中央保健センター、市内各地域	26	697	
計		252	2,430	

(2) 特定高齢者施策事業

要介護状態等となるおそれのある65歳以上の者（特定高齢者）を対象に、要介護状態等を予防し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援を行った。

①通所型介護予防事業（事業費 1,302,991円）

区 分	場 所	回 数	延人数
転倒骨折予防教室	中央保健センター	25回	46人
脳活性化教室	〃	13	26
栄養改善教室	〃	6	6
口腔訓練教室	〃	14	17
計		58	95

11 母子保健事業

母子保健法に基づき、乳幼児の健全育成と虐待予防及び子育て支援を図るため、次の諸事業を実施した。

(1) 健康教育事業

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	金 額	備 考
パパとママの教室	妊婦及びその夫	中央保健センター 小保保健センター	11回	231人	555,596円	妊娠中・出産後の健康管理及び沐浴実習、妊婦模擬体験、絵本の読み聞かせ体験
離乳食教室	乳児を持つ保護者	中央保健センター 二見老人福祉センター 小保保健センター 御菌保健センター	12	124		離乳食の講話 試食
幼児食教室	1～2歳児を持つ保護者	二見老人福祉センター	4	47		幼児食の講話調理実習・試食
要請による育児教室等	保護者	保育所ほか	21	208		子育て支援センター育児講座ほか
乳児健康診査事後教室	幼児と保護者	中央保健センター 二見老人福祉センター 小保保健センター 御菌保健センター	47	740	1,587,062	1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査後のフォロー
親子教室アイアイ	〃	中央保健センター	12	134		広汎性発達障害児早期発見、早期療育事業
むし歯バイバイ教室	2歳代の幼児と保護者	中央保健センター 小保保健センター	24	868	3,607,928	歯科医師講話、ブラッシング指導、歯科健診、フッ化物塗布ほか
3歳児フッ化物塗布教室	3歳代の幼児と保護者	〃	24	646		
歯科保健教室	幼稚園・保育園児と保護者	幼稚園 保育園	5	339		歯科医師・歯科衛生士講話、ブラッシング実習
計			160	3,337	5,750,586	

(2) 健康相談事業

(事業費 680,469円)

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回 数	延べ人数	備 考
妊婦相談	妊婦	中央保健センター 市内各地域	随時	638人	妊娠中の健康管理
子育て相談	乳幼児(就学まで)	市内各地域	54回	338	成人健康相談と同時開催
	乳幼児	中央保健センター 二見老人福祉センター 小保保健センター 御菌保健センター	60	2,147	発育、発達、育児相談
栄養相談	〃	〃	60	489	栄養の個別相談

電話育児相談	乳幼児を持つ家族	〃	随時	—	育児の悩み等の相談
計				3,612	

(3) 健康診査事業

区 分	対 象 者	実 施 場 所	回数等	延べ人数	金 額	備 考
妊婦一般健康診査	妊 婦	県内各医療機関	随時	2,074人	27,541,721 円	妊娠中に2回健康診査を実施
妊婦H B s 抗原精密検査	〃	〃	〃	1,073		妊婦健康診査1回目に実施
乳児一般健康診査	4か月・10か月の乳児	〃	〃	2,003		乳児期に2回健康診査を実施
1歳6か月児健康診査	1歳6か月～1歳8か月児	中央保健センター	36回	1,096	4,338,092	発育発達チェック小児科・歯科医師の診察ほか
3歳児健康診査	3歳6か月～3歳8か月児	〃	35	1,049	6,878,897	発育発達チェック小児科・耳鼻科・眼科・歯科医師の診察ほか
妊婦歯科健康診査	妊 婦	市内各歯科医院	随時	338	920,670	平成12年度より実施 妊娠中に1回歯科健康診査を実施
計				7,633	39,679,380	

(4) 訪問指導事業

増加する児童虐待を予防するため、不安の多い新生児期の訪問指導を実施し、育児不安の解消を図るとともに、ハイリスク家庭への支援の充実を図った。（事業費 730,979円）

区 分	対 象 者	人 数	備 考
妊産婦訪問指導	健診の要指導者及び支援が必要な妊産婦	880人	妊娠中・出産後の生活指導
新生児訪問指導	新 生 児	806	新生児の育児における生活指導、育児相談等
乳幼児訪問指導	健康診査未受診者及び要経過観察児	430	家庭の事情に応じた保健指導
計		2,116	

(5) 母子健康手帳交付事業（事業費 305,727円）

妊娠届の提出件数	交 付 場 所
1,097件	中央保健センター、各総合支所、各支所

(6) 不妊治療費助成事業

不妊治療を行っている夫婦に対し、治療にかかる費用の一部を助成することにより経済的な

負担の軽減を図り、少子化対策に寄与した。（事業費 3,726,422 円）

助成件数	申請場所
56件	中央保健センター、 各総合支所

12 休日・夜間応急診療所運営事業

平日夜間や休日における急病の発生に対処するため、休日・夜間応急診療所を開所し、応急診療を行った。

(1) 医科診療所運営事業

（事業費 57,463,234 円）

診療科目		区分	開所日数	受診者数			
				市内	市外(県内)	県外	計
昼	内科	69日	1,024人	203人	35人	1,262人	
	小児科		1,844	586	73	2,503	
	小計		2,868	789	108	3,765	
夜	内科	365	1,051	200	22	1,273	
	小児科		1,604	411	52	2,067	
	小計		2,655	611	74	3,340	
計		434	5,523	1,400	182	7,105	

(2) 歯科診療所運営事業

（事業費 5,823,217 円）

開所日数	受診者数			
	市内	市外(県内)	県外	計
69日	195人	60人	8人	263人

医 療 保 険 課

○ 国民健康保険関係

1 国民健康保険運営協議会

国民健康保険法第 11 条の規定に基づき設置した国民健康保険運営協議会を、次のとおり開催した。

(1) 開催回数 3 回 (5 月 31 日、8 月 31 日、2 月 22 日)

(2) 内容

5 月 31 日協議事項

- ・平成 18 年度国民健康保険料本算定について

8 月 31 日協議事項

- ・平成 17 年度国民健康保険特別会計決算見込みについて
- ・平成 18 年度国民健康保険特別会計補正予算 (案) について
- ・条例改正 (案) について
- ・国民健康保険料の算定方法の変更 (案) について
- ・今後の国保状況について
- ・医療制度改革の概要について

2 月 22 日協議事項

- ・平成 18 年度最終補正予算 (案) について
- ・平成 19 年度当初予算 (案) について

2 国民健康保険加入世帯及び被保険者数 (月平均)

世帯数	被保険者数	一般被保険者		退職被保険者等		老人保健対象者	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
世帯 27,987	人 51,977	人 27,093	% 52.1	人 11,115	% 21.4	人 13,769	% 26.5

3 給付状況

種 別	件 数	金 額	摘 要
一般被保険者 療養給付費	件 304,264	千円 4,157,667	(1) 診療延べ日数 512,900 日
			(2) 費用額 5,674,240,654 円
			(3) 一人当たり費用額 209,436 円
			(4) 一人当たり保険者負担額 153,459 円
			(5) 一人当たり受診回数 11.2 回

退職被保険者等療養給付費	220,555	2,967,121	(1)診療延べ日数 349,036日 (2)費用額 3,891,925,468円 (3)一人当たり費用額 350,151円 (4)一人当たり保険者負担額 266,947円 (5)一人当たり受診回数 19.8回
一般被保険者療養費	5,318	39,731	
退職被保険者等療養費	3,065	28,016	
一般被保険者高額療養費	6,003	443,029	
退職被保険者等高額療養費	3,502	219,187	
出産育児一時金	145	46,750	300,000円×80件、350,000円×65件
葬祭費	994	49,700	50,000円×994件
計	543,846	7,951,201	

4 国民健康保険料（税）収納状況

区 分			調定額 (円)	収入額 (円)	不納欠損額 (円)	還付未済額 (円)	収入未済額 (円)	収納率 (%)	
保 險 料	一 般 被 保 險 者	現年	医療	2,925,607,131	2,670,566,489	—	201,068	255,241,710	91.3
			介護	274,534,726	240,219,842	—	11,832	34,326,716	87.5
		滞納 繰越	医療	402,930,184	87,853,239	148,867,056	5,740	166,215,629	21.8
			介護	50,959,728	12,628,444	14,405,189	160	23,926,255	24.8
		小計		3,654,031,769	3,011,268,014	163,272,245	218,800	479,710,310	82.4
	退 職 被 保 險 者 等	現年	医療	1,021,447,669	1,007,309,534	—	18,600	14,156,735	98.6
			介護	95,716,374	94,048,842	—	—	1,667,532	98.3
		滞納 繰越	医療	25,722,203	10,278,348	6,884,905	838	8,559,788	40.0
			介護	3,459,362	1,341,384	673,543	162	1,444,597	38.8
		小計		1,146,345,608	1,112,978,108	7,558,448	19,600	25,828,652	97.1
合 計			4,800,377,377	4,124,246,122	170,830,693	238,400	505,538,962	85.9	
保 險 税	一 般 被 保 險 者	現年	医療	4,061,449	3,105,900	—	—	955,549	76.5
			介護	364,526	167,858	—	—	196,668	46.0
	滞納 繰越	医療	119,664,175	18,629,570	19,180,038	10,600	81,865,167	15.6	
		介護	10,662,272	1,753,156	929,345	—	7,979,771	16.4	
	小計		134,752,422	23,656,484	20,109,383	10,600	90,997,155	17.5	

保 險 税	退 職 被 保 險 者 等	現 年	医療	403,851	136,124	—	—	267,727	33.7
			介護	59,974	27,918	—	—	32,056	46.6
	滞 納 繰 越	医療	3,986,936	1,272,889	305,234	—	2,408,813	31.9	
		介護	377,693	104,953	22,400	—	250,340	27.8	
	小 計	4,828,454	1,541,884	327,634	—	2,958,936	31.9		
合 計			139,580,876	25,198,368	20,437,017	10,600	93,956,091	18.0	
保 險 料 ・ 保 險 税	一 般 被 保 險 者	現 年	医療	2,929,668,580	2,673,672,389	—	201,068	256,197,259	91.3
			介護	274,899,252	240,387,700	—	11,832	34,523,384	87.4
	滞 納 繰 越	医療	522,594,359	106,482,809	168,047,094	16,340	248,080,796	20.4	
		介護	61,622,000	14,381,600	15,334,534	160	31,906,026	23.3	
	小 計	3,788,784,191	3,034,924,498	183,381,628	229,400	570,707,465	80.1		
	退 職 被 保 險 者 等	現 年	医療	1,021,851,520	1,007,445,658	—	18,600	14,424,462	98.6
			介護	95,776,348	94,076,760	—	—	1,699,588	98.2
		滞 納 繰 越	医療	29,709,139	11,551,237	7,190,139	838	10,968,601	38.9
			介護	3,837,055	1,446,337	695,943	162	1,694,937	37.7
	小 計	1,151,174,062	1,114,519,992	7,886,082	19,600	28,787,588	96.8		
合 計			4,939,958,253	4,149,444,490	191,267,710	249,000	599,495,053	84.0	
保険料・保険税 現年計（再掲）			4,322,195,700	4,015,582,507	—	231,500	306,844,693	92.9	
保険料・保険税 滞繰計（再掲）			617,762,553	133,861,983	191,267,710	17,500	292,650,360	21.7	

5 国民健康保険収納区分

区 分	収 納 額	収 納 割 合
口 座 振 替	2,845,133,400 円	68.6%
臨 戸 徴 収 等	342,395,330	8.3
金 融 機 関 等	961,915,760	23.2
計	4,149,444,490	100.1

割合の合計は、四捨五入のため100.0%にならない。

6 国民健康保険料滞納処分（差押）状況

区 分	不 動 産		電 話		債 権		計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
3 月 末	件 29	円 9,390,472	件 28	円 9,085,689	件 0	円 0	件 57	円 18,476,161

7 国民健康保険財政調整基金

旧年度繰越分	771,157,505 円
本年度中増減高	△89,276,497 円
うち 歳計剰余金積立	100,000,000 円
利子積立	723,503 円
取崩し	△190,000,000 円
本年度末現在高	681,881,008 円

8 健康家庭表彰

平成 17 年度中に保険証を使用せず、保険料を完納した 799 世帯に記念品を贈呈した。

9 平成 18 年度国民健康保険特別会計の決算見込みについて

歳入合計	11,726,312,139 円
歳出合計	11,657,336,062 円
歳入歳出差引額	68,976,077 円
繰越明許費繰越額	40,230,000 円
実質収支額	28,746,077 円
基金積立金	15,000,000 円

10 保健事業

(1) 健康づくり推進事業委託 22,842,800 円

成人病などの早期発見、早期治療を図るため、保健センター実施の「健康診査事業」を受診した国民健康保険被保険者（延べ 31,839 人）への負担を行った。

検診内容は、基本健康診査（尿定性検査、肝機能検査等）・子宮がん検診・胃がん検診・肺がん検診・前立腺がんマーカー検査などを行った。

(2) 水中運動事業

成人病や介護予防を図るため、35 歳以上の国民健康保険被保険者を対象として、市内スイミングスクールに委託し、水中運動事業を実施した。延べ 730 人の参加があった。

(3) 医療費通知

医療を受けた被保険者（老人保健医療対象者を除く）に対し、健康の保持・増進についての自覚を促すとともに、医療に対する認識をより深めてもらうため、医療費の通知を行った。

送付月	診療月	受診世帯数	送付世帯数
平成 18 年 4 月	平成 17 年 12 月 平成 18 年 1 月	15,691 世帯	15,650 世帯

平成 18 年 6 月	平成 18 年 2 月 平成 18 年 3 月	15,793	15,768
平成 18 年 8 月	平成 18 年 4 月 平成 18 年 5 月	15,915	15,884
平成 18 年 10 月	平成 18 年 6 月 平成 18 年 7 月	16,004	15,977
平成 18 年 12 月	平成 18 年 8 月 平成 18 年 9 月	15,977	15,939
平成 19 年 2 月	平成 18 年 10 月 平成 18 年 11 月	16,052	16,189

(4) その他の保健事業

三重県国民健康保険団体連合会が実施する保健事業について、その事業費の一部を負担した。

11 第三者行為（交通事故等）等による診療費の求償状況

一般	40 件	7,491,977 円
退職	19 件	9,573,216 円
計	59 件	17,065,193 円

12 高額療養費資金貸付事業

高額療養費の支給を受けるまでの間、支払に必要な資金を貸付けることにより、当該世帯の生活の安定を図った。

平成 18 年度実績 48 件 7,167,000 円

13 出産育児一時金貸付事業

出産育児一時金の支給を受けるまでの間、出産資金を貸付けることにより、当該世帯の生活の安定を図った。

平成 18 年度実績 18 件 4,480,000 円

○ 福祉医療費関係

1 障害者医療費の助成

心身障害者の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費等の一部を次のとおり助成した。

(1) 心身障害者医療費支給事業

当初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医療費等の助成			証明書料の助成		郵送料
	資格 認定者	資格 喪失者	3月末 有資格者	延べ 人数	延べ 件数	金額	延べ 件数	金額	金額
人 1,840	人 357	人 171	人 2,026	人 16,022	件 39,143	円 197,065,051	件 32,948	円 6,589,600	円 483,110

(2) 65歳以上心身障害者医療費支給事業

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成		
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3月末 有資格者	延べ人数	延べ件数	金 額
人 2,086	人 265	人 284	人 2,067	人 22,097	件 59,299	円 187,076,638

2 老人医療費支給事業

(1) 老人医療費助成

68・69歳の高齢者の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費等の一部を次のとおり助成した。(平成15年8月31日で制度廃止。平成17年8月31日まで経過措置あり。経過措置期限までの診療分について助成。)

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成			証明書料の助成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3月末 有資格者	延べ人数	延べ件数	金 額	延べ件数	金 額
人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	件 0	円 0	件 0	円 0

(2) 高齢者医療費助成

旧小俣町において実施していた高齢者医療費助成事業(65歳から69歳までの高齢者が対象。)は平成17年8月31日廃止されたが、廃止までの診療分について、医療費等の一部を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成			証明書料の助成		郵送料
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3月末 有資格者	延べ 人数	延べ 件数	金 額	延べ 件数	金 額	金 額
人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	件 0	円 0	件 0	円 0	円 0

3 乳幼児医療費支給事業

乳幼児の保健の向上と福祉の増進を図るため、満4歳未満の入院、通院にかかる医療費及び4歳から小学校入学前までの者の入院にかかる医療費を次のとおり助成した。(医療費等の助成のカッコ内は4歳から小学校入学前までの入院助成分)

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成			証明書料の助成	
	資 格 認定者	資 格 喪失者	3月末 有資格者	延べ人数	延べ件数	金 額	延べ件数	金 額
人 4,113	人 1,286	人 1,366	人 4,033	人 29,308 (38)	件 59,708 (38)	円 116,049,637 (1,821,965)	件 57,096	円 11,419,200

4 一人親家庭等医療費支給事業

満 18 歳年度末までの児童を養育する母（父）子家庭の母（父）及びその児童並びに父母のいない満 18 歳年度末までの児童の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費等の一部を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成			証 明 書 料 の 助 成	
	資 格 認 定 者	資 格 喪 失 者	3 月 末 有 資 格 者	延 べ 人 数	延 べ 件 数	金 額	延 べ 件 数	金 額
人 2,988	人 444	人 470	人 2,962	人 14,265	件 26,483	円 65,478,371	件 25,043	円 5,008,600

5 寡婦医療費支給事業

寡婦（60 歳から 69 歳までの女子で、配偶者と死別し、かつて 20 歳未満の者を扶養していた者。ただし、現在、婚姻している者を除く。）の保健の向上と福祉の増進を図るため、医療費等の一部を次のとおり助成した。

当 初 有資格者 (4/1)	資格の異動			医 療 費 等 の 助 成			証 明 書 料 の 助 成	
	資 格 認 定 者	資 格 喪 失 者	3 月 末 有 資 格 者	延 べ 人 数	延 べ 件 数	金 額	延 べ 件 数	金 額
人 11	人 8	人 0	人 19	人 7	件 7	円 35,662	件 0	円 0

6 老人医療費支給事業協力費

老人医療費支給事業の円滑な推進を図るため、医師会等に手数料を支払った。

医 師 会 名	受 診 件 数	所 要 額
伊 勢 地 区 医 師 会	279,827 件	27,982,700 円
伊 勢 地 区 歯 科 医 師 会	21,560	2,156,000
柔道整復師会伊勢支部	4,337	433,700
計	305,724	30,572,400

○ 老人保健医療特別会計

老人保健法に基づき、75 歳以上（昭和 7 年 9 月 30 日以前に生まれた方を含む）の老人及び 65 歳以上で一定の障害のある方を対象に、医療の給付（現物給付）、医療費の支給（現金給付）を行った。

1 受給対象者変動状況

年度当初 受給者 (4月1日現在)	資格の異動						年度末者 受給者
	資格取得			資格喪失			
	転入	発生	その他	転出	死亡	その他	
人 17,231	人 82	人 53	人 1	人 79	人 958	人 20	人 16,310
内訳 国保 14,429 社保 2,802							内訳 国保 13,735 社保 2,575

(1) 老人医療費受給者数 (月平均) 16,822 人

2 医療給付費等支出状況

区分	種別	国民健康保険		社会保険		計		
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	
現 物 費	診療費	入院	件 9,915	千円 3,704,627	件 1,733	千円 627,149	件 11,648	千円 4,331,776
		入院外	232,674	3,150,788	44,193	597,206	276,867	3,747,994
		歯科	19,185	282,153	3,231	46,196	22,416	328,349
		小計	261,774	7,137,568	49,157	1,270,551	310,931	8,408,119
給 付	調剤	104,913	1,258,052	19,828	238,929	124,741	1,496,981	
	食事療養費	—	195,906	—	30,863	—	226,769	
	施設療養費	0	0	0	0	0	0	
	訪問看護療養費	319	19,364	57	3,524	376	22,888	
	計	367,006	8,610,890	69,042	1,543,867	436,048	10,154,757	
現金給付						60,297	185,126	
合 計						496,345	10,339,883	

3 審査支払手数料支出状況

国民健康保険 367,006 件 40,957,863 円
社会保険 49,214 件 6,768,570 円

4 第三者行為 (交通事故等) 等による求償状況

36 件 20,106,325 円

5 老人保健健康指導事業

老人保健法による医療を受けた老人に対して、健康の保持・増進についての自覚を促すとともに医療に対する認識をより深めてもらうため、医療費の通知を行った。

通知年月	診療年月	通知世帯数（件）
18. 8	18. 2 18. 3	12, 213
18. 11	18. 5 18. 6	12, 187
19. 2	18. 8 18. 9	12, 000
合 計	3回 各2箇月分	36, 400

○ 後期高齢者医療制度関係

平成 20 年 4 月に施行される後期高齢者医療制度の事務を処理するため、三重県内 29 市町が加入する広域連合を設立した。

- ・平成 18 年 8 月 1 日 三重県後期高齢者医療広域連合設立準備委員会設立
- ・平成 19 年 2 月 1 日 三重県後期高齢者医療広域連合設立

○ 国民年金関係

1 適用事務

市民の年金受給権を確保し、老後の生活の安定を図るため、適用対象者を把握し、届出指導を実施した。

(人)

区 分	年 度 当 初 被 保 険 者 数	年 度 末 被 保 険 者 数	増減数
第 1 号被保険者	22, 048	21, 653	△395
任意加入被保険者	316	294	△22
第 3 号被保険者	10, 740	10, 714	△26
計	33, 104	32, 661	△443

2 届出書等受理

被保険者並びに受給者に対する各種届出の指導を実施し、関係届書の受理、審査、進達を行った。

(1) 被保険者資格関係届等受理状況

区 分	件 数 (件)
資格取得・喪失・種別変更	2,741
住 所 変 更	3,786
法 定 免 除 ・ 申 請 免 除	7,859
そ の 他	1,029
計	15,415

(2) 裁定請求等受理状況

区 分	件 数 (件)
老 齢 ・ 通 算 老 齢 ・ 老 齢 基 礎 年 金	50
障 害 基 礎 年 金	60
遺 族 基 礎 年 金	1
寡 婦 年 金	3
未 支 給 年 金	10
死 亡 一 時 金	12
現 況 届	980
特 別 障 害 給 付 金	0
そ の 他	22
計	1,138

(3) 老齢福祉年金関係届受理状況

区 分	件 数 (件)
未 支 給 年 金 請 求	5
現 況 届	36
失 権 届	8
そ の 他	3
計	52

3 給付状況 (18年度時点数値が把握できないため、17年度決算数値のみ掲載)

(1) 老齢給付の状況

区 分	老 齢 基 礎 年 金	老 齢 年 金	5 年 年 金	通 算 老 齢 年 金	計
受 給 権 者 数 (人)	21,920	3,248	107	1,820	27,095
年 金 額 (千 円)	15,243,729	1,652,392	43,955	408,131	17,348,207

(2) 障害・遺族給付の状況

区 分	障害基礎	障害	遺族基礎	母子遺児	寡婦	計
受給権者数(人)	1,479	93	65	0	64	1,701
年金額(千円)	1,312,204	82,031	49,381	0	31,307	1,474,923

(3) 老齢福祉年金給付の状況

受給者数	全部支給停止者数	受給権者数	年金額
28人	17人	45人	18,319千円

介 護 保 険 課

○ 老人福祉関係

1 高齢者住宅改造事業補助金

低所得の介護保険要介護（支援）認定者及び虚弱高齢者が安心して日常生活を送れるよう、在宅生活を支えるための住宅改造に要した費用について補助を行い、当該高齢者の福祉の増進と家族の介護負担の軽減を図った。

補助件数 3 件
補助金額 754,000 円

2 老人福祉施設等建設補助金

社会福祉法人が行う社会福祉施設等の施設整備及び設備整備に対して補助を行った。

なお、本件については、施設整備の工期延長により、補助金の交付が平成 17 年度から平成 18 年度へ繰越しとなったものである。

法人名	施設名	施設所在地	定員	補助金額	備考
社会福祉法人慈恵会	特別養護老人ホーム正邦苑静乾	村松町3355-1	入所 50人 ショートステイ10人	23,612,000円	

3 低所得利用者負担支援事業

(1) 訪問介護利用者負担支援事業

介護保険法施行時にホームヘルプサービスを利用していた低所得の高齢者、障害者等に対して、介護保険制度の導入に伴う利用者負担の激変緩和を図るため、利用者負担（10%）を軽減し、訪問介護サービスの継続的な利用の促進を図った。

対象者は、若年の頃から障害者施策によるホームヘルプサービスを利用していた者で65歳到達者、又は40歳から64歳までの介護保険適用となった者のうち低所得（生計中心者が所得税非課税）の者。

公費負担率 7 % 24人 973,260円

(2) 社会福祉法人利用者負担支援事業

①通常の社会福祉法人利用者負担支援事業

介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人等がその社会的役割として、低所得で特に生計が困難である者に対して利用者負担額を減額する場合に、当該社会福祉法人等に対して補助金を交付することにより、介護保険サービスの利用促進を図った。

ア 対象者 軽減確認者 29 人
イ 軽減割合 利用者負担段階第 1 段階の利用者 利用者負担額の 1 / 2
利用者負担段階第 2、3 段階の利用者 利用者負担額の 1 / 4

ウ 軽減対象サービス（三重県に申し出のあった社会福祉法人等の行うサービスに限る。）

- ・訪問介護
- ・通所介護
- ・短期入所生活介護
- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）への長期入所

②激変緩和措置の社会福祉法人利用者負担支援事業

平成 18 年度の税制改正（高齢者の非課税限度額の廃止）の影響により、市民税非課税世帯から課税世帯になった者に対して、通常社会福祉法人利用者負担制度より緩やかな基準を適用することにより、介護保険の利用者負担額急増の緩和を図った。

ア 対象者 軽減確認者 16 人

イ 軽減割合 利用者負担額の 1 / 8

ウ 軽減対象サービス（三重県に申し出のあった社会福祉法人等の行うサービスに限る。）

- ・訪問介護
- ・通所介護
- ・短期入所生活介護
- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）への長期入所

③補助金交付件数 1 件

④補助金額 90,000 円

○ 介護保険料関係

収納率の向上を図るため、口座振替制度の推進、訪問、文書、電話による自主納付の指導、介護保険制度の周知及び理解に努めた。

1 介護保険加入世帯及び被保険者数

被保険者数 (平成 19 年 3 月末)	特 別 徴 収		普 通 徴 収	
	人 数	構成比	人 数	構成比
32,297 人	28,860 人	86.6%	4,479 人	13.4%

※ 特別徴収及び普通徴収人数については、賦課実績人数

2 介護保険料収納状況

区 分		調 定 額 (円)	収 入 済 額 (円)	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)	収納率 (%)
保 険 料	現 年 分					
	特 別 徴 収	1,300,018,530	1,300,753,410 (734,880)	—	△734,880	100.0
	普 通 徴 収	215,850,840	198,048,500 (57,200)	—	17,802,340	91.7

	小 計	1,515,869,370	1,498,801,910 (792,080)	—	17,067,460	98.8
滞 納 繰 越 分	特 別 徴 収	—	—	—	—	—
	普 通 徴 収	24,362,600	4,477,700	8,599,200	11,285,700	18.4
	小 計	24,362,600	4,477,700	8,599,200	11,285,700	18.4
合 計		1,540,231,970	1,503,279,610 (792,080)	8,599,200	28,353,160	97.6

※ () は還付未済額

※ 収納率 = (収入済額 - 還付未済額) ÷ 調定額

3 介護保険料収納区分

区 分	収 納 額 (円)	収納割合 (%)
口 座 振 替	97,120,100	6.5
訪 問 徴 収 等	68,682,890	4.6
金 融 機 関 等	36,723,210	2.4
特 別 徴 収 分	1,300,753,410	86.5
計	1,503,279,610	100.0

○ 介護給付関係

1 申請及び認定状況

介護保険法に基づく要介護等認定申請件数及び要介護等認定者数は、次のとおりである。

(1) 要介護等認定申請件数

新規申請	更新申請	区分変更申請	小 計	転入申請	合 計
1,392 件	5,239 件	655 件	7,286 件	34 件	7,320 件

(平成18年4月～平成19年3月)

(2) 要介護等認定者数

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
396 人	523 人	1,046 人	1,036 人	1,033 人	807 人	609 人	5,450 人

(平成19年3月末現在)

2 介護認定審査会の状況

介護保険法及び伊勢市介護保険条例に基づき、伊勢市介護認定審査会を設置し、要介護認定等に係る審査判定業務を行った。

(1) 委員数 64人

(16合議体・1合議体4人で構成)

(2) 委員構成 医療関係者 38人

(医師22人、歯科医師 6人、薬剤師 3人、看護師 6人、柔道整復師 1人)

福祉関係者 20人

保健関係者 6人

(3) 開催回数 191回

(4) 判定件数 ※申請件数との相違は、申請取下げ及び19年度への持越し等による。

非該当	要支援	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
44 件	44 件	557 件	868 件	1,392 件	1,318 件	1,137 件	831 件	761 件	6,952件

(平成18年4月～平成19年3月)

3 認定調査の状況

介護保険法に基づき、要介護等認定申請に係る被保険者の訪問調査を実施した。

(1) 調査件数 6,948件 (※ 申請件数との相違は、再調査及び翌年度への持越し等による。)

内訳 市職員によるもの 6,540件

委託（居宅介護支援事業者等）によるもの 408件

(2) 調査員数 11人（嘱託職員9人、非常勤職員2人 ※平成19年3月末現在）

4 保険給付

介護保険法に基づき、要介護(要支援)被保険者に対して次のとおり保険給付を行った。

(1) 居宅介護（介護予防）サービス月別受給者数

	要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計(人)
4月	0	0	310	1,034	531	444	344	231	2,894
5月	0	0	305	1,047	555	456	349	223	2,935
6月	24	12	252	1,018	550	457	347	234	2,894
7月	38	37	234	992	568	469	359	231	2,928
8月	54	73	195	952	593	482	358	238	2,945
9月	62	104	169	924	604	510	357	251	2,981
10月	87	145	128	852	618	528	350	239	2,947
11月	100	164	105	807	632	561	353	238	2,960
12月	112	199	74	728	660	566	374	240	2,953
1月	123	213	55	704	677	568	362	244	2,946
2月	121	229	43	691	681	590	366	248	2,969
3月	130	245	32	666	680	598	376	237	2,964
合計	851	1,421	1,902	10,415	7,349	6,229	4,295	2,854	35,316
月平均	70.9	118.4	158.5	867.9	612.4	519.0	357.9	237.8	2,943

(2) 地域密着型（介護予防）サービス月別受給者数

	要支援 1	要支援 2	経過的 要介護	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計(人)
4月	0	0	0	30	38	36	23	4	131
5月	0	0	0	34	42	37	22	5	140
6月	0	0	0	38	44	47	34	10	173
7月	0	0	0	36	43	51	35	10	175
8月	0	0	0	36	42	57	31	10	176
9月	0	0	0	35	44	61	34	11	185
10月	0	0	0	32	41	68	36	10	187
11月	0	0	0	33	35	72	39	11	190
12月	0	1	0	31	42	69	39	11	193
1月	0	1	0	29	36	67	37	11	181
2月	0	1	0	32	38	71	39	11	192
3月	0	1	0	32	40	73	39	11	196
合計	0	4	0	398	485	709	408	115	2,119
月平均	0	0.3	0	33.1	40.4	59.0	34.0	9.5	176.5

(3) 施設介護サービス月別受給者数

	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	計(人)
4月	469	425	68	962
5月	475	423	74	972
6月	478	413	76	967
7月	493	423	82	998
8月	510	404	78	992
9月	504	404	81	989
10月	506	407	66	979
11月	505	403	70	978
12月	506	408	67	981
1月	505	410	69	984
2月	507	409	69	985
3月	496	415	73	984
合計	5,954	4,944	873	11,771
月平均	496.1	412.0	72.7	980.9

(4) 保険給付費

経 費	件 数(件)	金 額 (円)	摘 要
居宅介護(介護予防)サービス給付費 (内訳)	71,207	3,240,127,916	
(介護予防)訪問介護			
(介護予防)訪問入浴介護	13,690	611,557,115	
(介護予防)訪問看護	1,084	51,493,050	
(介護予防)訪問リハビリテーション	5,293	210,906,495	
	313	5,883,930	
(介護予防)通所介護			
(介護予防)通所リハビリテーション	20,278	1,174,531,173	
	3,405	199,436,139	
(介護予防)福祉用具貸与			
(介護予防)短期入所	15,047	194,499,072	
(介護予防)居宅療養管理指導	6,836	587,528,138	
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	4,229	25,610,760	
	145	32,081,775	
(介護予防)特定施設入居者生活介護	887	146,600,269	
地域介護(介護予防)サービス費給付費 (内訳)	2,084	445,984,227	
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	1,624	373,088,034	
地域密着型介護老人福祉施設	209	45,595,476	
(介護予防)認知症対応型通所介護	246	26,178,867	
施設介護サービス等給付費 (内訳)	12,803	2,820,403,797	
介護老人福祉施設	6,029	1,379,167,734	
介護老人保健施設	5,007	1,179,998,329	
介護療養型医療施設	906	250,897,533	
特定診療費	864	10,471,591	
食事費用額	△3	△131,390	
居宅福祉用具購入費	587	13,916,558	腰掛便座 305件 特殊尿器 3件 入浴補助具 407件 リフトつり具 3件 (※複数購入者有)
居宅住宅改修費	474	48,304,846	手すりの取付け 413件 段差解消 176件 通路面変更 37件 扉取替 40件 便器取替 44件 (※複数工事者有)

居宅介護（介護予防）サービス計画費	33,978	355,190,206	
高額介護（介護予防）サービス費	9,765	105,390,725	
特定入所者介護（介護予防）サービス費	10,046	295,593,180	

※ 保険給付費は、(1)、(2)及び(3)に掲げる受給者のうち、平成18年3月から平成19年2月までの受給者に係るものである。（現物給付分は3月から翌年2月分までのサービス提供に係る保険給付をひとつの会計年度として取り扱うこと等による。）

5 住宅改修指導事業

介護保険の要介護又は要支援の認定者で、居宅介護支援の提供を受けていない者が、適切な住宅改修が行えるよう、住宅改修費の支給申請に必要な「理由書」の作成者に対し助成を行った。

事業所名	作成件数	事業費(円)	事業所名	作成件数	事業費(円)
愛安住	5件	10,000	社会福祉協議会 伊勢居宅介護支援事業所	3件	6,000
あいは一と居宅介護支援事業所	3件	6,000	社会福祉協議会 伊勢居宅介護支援事業所（みなと）	4件	8,000
アイリスケアセンター（ニチイ学館）	2件	4,000	社会福祉協議会 小俣居宅介護支援事業所	13件	26,000
あき工房	1件	2,000	社会福祉協議会 二見居宅介護支援事業所	6件	12,000
あんず指定居宅介護支援事業所	1件	2,000	社会福祉協議会 御菌居宅介護支援事業所	5件	10,000
伊勢地区医師会 居宅介護支援事業所	3件	6,000	正邦苑指定居宅介護支援事業所（慈恵会）	10件	20,000
伊勢まごころ居宅介護支援事業所	1件	2,000	白百合園居宅介護支援事業所（福德会）	7件	14,000
伊勢度会医療生協居宅介護支援事業所	4件	8,000	高見指定居宅介護支援センター	7件	14,000
一級建築士 加藤文基	1件	2,000	田中ケアプランセンター	2件	4,000
上村工務店	2件	4,000	玉城町指定居宅介護支援事業所	2件	4,000
海野指定居宅介護支援センター	2件	4,000	大吉建設	1件	2,000
s k y 居宅介護支援事業所	2件	4,000	地域包括支援センター	12件	24,000

オフィス大西	2件	4,000	野七	1件	2,000
神路園居宅介護支援事業所（伊勢医心会）	5件	10,000	ふたみ指定居宅介護支援センターシルバーケア豊壽園（洗心福祉会）	2件	4,000
居宅介護支援事業所 正邦苑城田（慈恵会）	2件	4,000	船谷建設	1件	2,000
居宅介護支援センター オアシス	1件	2,000	訪問看護ステーションたんぽぽ指定居宅介護支援事業所	2件	4,000
居宅介護支援センター カトレア（松徳会）	1件	2,000	訪問介護森伸住環境部	8件	16,000
口山建設	3件	6,000	丸芳奥野建築	2件	4,000
ケアクレスト	1件	2,000	森伸居宅介護支援センター	7件	14,000
ケアフィット居宅介護支援事業所	6件	12,000	山口工務店	1件	2,000
在宅介護支援センター 双寿園（邦栄会）	6件	12,000	山咲苑居宅介護支援事業所	1件	2,000
在宅介護支援センター 楽寿苑	3件	6,000	山田赤十字病院 居宅介護支援事業所	4件	8,000
指定居宅介護支援センター 亀楽堂	1件	2,000	綿彦	1件	2,000
ささゆり指定居宅介護支援事業所（メディカルサポート）	1件	2,000	ライフサポート濱口	3件	6,000
指定居宅介護支援事業所菜のはな	1件	2,000			
合計				165件	330,000

6 介護用品支給事業

介護保険要介護4又は5と認定され、かつ在宅にて介護を受けている者（入院中を含む）のうち、市民税非課税世帯に該当する者に対して、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド・紙パンツ・清拭剤・ドライシャンプーの購入費用の一部をクーポン券の支給により補助し、高齢者福祉の更なる向上と介護負担の軽減を図った。

- (1) 支給者数 414人
- (2) 支給枚数 6,176枚
- (3) 利用枚数 5,191枚
- (4) 事業費 15,902,945円（うち事務費 272,445円）

7 伊勢市介護保険推進協議会

本市の介護保険事業について、市民等から意見を聴き円滑な運営を図るため、伊勢市介護保険

推進協議会を開催した。

(1) 委員数 20人

(2) 委員構成 学識経験者(1人)、保健医療関係者(3人)、自治会代表(4人)、民生委員代表(2人)、老人クラブ代表(1人)、介護保険施設代表(1人)、居宅サービス事業者代表(3人)、障害者団体代表(1人)、介護保険被保険者代表(4人)

(3) 開催回数 2回

8 家族介護慰労事業

一定の要件を満たす者を介護している家族に対し、精神的及び経済的負担の軽減を目的として、要介護者1人当たり100,000円の慰労金を支給する。

対象者 なし

9 介護相談員派遣事業

介護保険サービス利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに事業所におけるサービスの質的な向上を図るため、介護相談員を事業所に派遣し、利用者の相談業務を行った。

(1) 介護相談員数 7人

(2) 派遣先事業所 9法人 26事業所

10 介護保険制度の周知

介護保険制度や事業計画について、パンフレットの配布及び広報への掲載等により周知活動を行った。また、要請のあった団体に対し説明会を実施した。

(1) パンフレット配布

「いつも笑顔で介護保険」、「平成18年4月から介護保険制度が変わりました」、「介護サービス一覧表」、「介護保険の住宅改修」、「伊勢市の福祉・保健ガイドブック」を作成し、窓口での配布を行った。

(2) 説明会等の実施

- ・要請のあった団体(民協、民間業者(ヘルパー講習会)等)に対し説明会を実施した(13回)。
- ・人材育成カレッジにおいて、市職員に対し介護保険制度の講習を実施した(2回)。

(3) 広報

広報いせに記事を掲載した(3件)。

(4) ホームページ

制度改正に伴い、ホームページ掲載記事の更新をした。

生 活 支 援 課

○ 社会福祉関係

1 行旅者の一時扶助取扱状況

行旅病人等一時扶助 48件 24,000円

2 災害見舞金支給状況（「伊勢市災害見舞金支出要綱」による。災害救助法の適用を受けるに至らない災害罹災者対象）

火事全焼 5件 250,000円

火事半焼 3件 90,000円

死亡 1件 70,000円

3 民生委員・児童委員活動事業

(1) 伊勢市民生委員児童委員協議会連合会

ア 定数

	定数	現在員（H19. 3. 31）
民生委員・児童委員	287名	283名（男119名 女164名）
（うち主任児童委員）	（26名）	（26名（男5名 女21名））

イ 活動状況

10地区の民生委員・児童委員協議会相互の情報収集と親睦を図るため、伊勢市民生委員児童委員協議会連合会の役員会を11回開催した。

4月10日 平成18年度行事予定等協議

5月8日 総会・前期研修会開催等協議

6月12日 全国民生委員大会への参加等協議

8月14日 後期研修会、共同募金等協議

9月11日 後期研修会開催等協議

10月10日 部会活動・共同募金等協議

11月13日 災害時支援活動等協議

12月11日 災害時支援活動・広報活動等協議

1月9日 各種委員選考等協議

2月13日 全国民生委員大会への参加等協議

3月12日 平成19年度総会・研修会開催等協議

ウ 民生委員・児童委員の資質の向上を図るために民生委員全体の研修を行った。

6月12日 「相談の基本を考える」（前期全体研修）

講師 有田 モト子 氏

9月27～29日 「普通救急講習」（後期全体研修）

講師 伊勢市消防本部職員

エ 地区民生委員協議会

協議会名	委員数	担当地区
五十鈴地区	30名	進修・修道・四郷
倉田山地区	27	明倫・有緝
厚生地区	22	厚生
宮川地区	25	早修・中島
港地区	29	神社・大湊・浜郷
北部地区	35	豊浜・北浜・城田
南部地区	24	宮本・沼木
二見地区	22	二見町
小俣地区	44	小俣町
御菌地区	25	御菌町
計	283	—

(2) 民生委員推薦会

民生委員・児童委員の任期途中における退任により、民生委員推薦会を開催して、新たな民生委員・児童委員の推薦を行うべきところであるが、事務の迅速及び簡素化により持ち回りで審査を行った。(持ち回り審査4回) なお、新市による民生委員推薦会委員を委嘱し、委員長及び同職務代理者の選任並びに任期途中の退任による新たな民生委員・児童委員候補者の審査と推薦を行うため、民生委員推薦会を1回開催した。

4 保護司関係

(1) 定数 43名

H18. 4. 1 在職人員	H18. 4. 1～H19. 3. 31の異動		H19. 3. 31 在職人員
	新 任	退 任	
42名	1名	3名	40名

(2) 活動状況

ア 罪を犯した人たちの更生を援助するとともに、犯罪予防の啓発に努め、地域社会から犯罪の根絶を図った。

イ 保護司としての使命の自覚、人格識見の向上並びに職務遂行上必要な知識及び技術の修得のため、津保護観察所の指導を得て4回の定期研修会を、更に自主的な研修事業として体験発表会及びブロック研修会を行った。

(定期研修)

6月23日	第1期統一研修会	講 師	津保護観察所保護観察官	竹村建治 氏
9月 7日	第2期統一研修会	講 師	同	上
12月8日	第3期統一研修会	講 師	同	上
3月16日	第4期統一研修会	講 師	同	上

(研修視察)

10月18・19日 松本少年刑務所視察

(自主研修)

1月30日 体験発表会

2月17日 伊勢・度会保護区合同ブロック研修会

(3) 社会を明るくする運動

7月1日から7月31日までの間、伊勢警察署、伊勢市総連合自治会等関係団体との共催で、第56回社会を明るくする運動の実施に協力した。

7月1日～7月31日 厚生小学校前と宇治山田駅前の歩道橋に啓発宣伝用横断幕を設置

7月1日～7月31日 市役所本庁舎と小俣総合支所に啓発宣伝用懸垂幕を設置

7月1日～9月8日 社会を明るくする運動作文コンテスト実施

7月1日～9月13日 社会を明るくする運動書道コンクール実施

7月3日 宇治山田駅と明野駅周辺で街頭啓発

7月4日～7月6日 広報車による市内啓発

7月8日 市民の集い開催

講演「保護観察の現状と課題」

講師 津保護観察所更生保護振興課長 中村 英雄 氏

広報映画上映「二つの道」

7月10日 広報車による市内啓発

7月12日 中学生非行防止啓発

市内の全中学生（3,987名）に非行防止啓発物質を配布

また、伊勢市総連合自治会の協力を得て「愛の資金」募金を実施した。

目標額	3,300,000円
実績額	3,481,165円

○ 遺家族等援護事業

1 戦没者等遺族の受付状況

戦没者等の遺族に対する第8回特別弔慰金 受付 313件（累計 1,995件）

戦傷病者の妻に対する特別給付金 受付 35件

戦没者の妻に対する特別給付金 受付 7件

2 恩給関係書類交付及び指導状況

受給者死亡に係る失権届提出指導 23件

受給権調査、請求相談指導 2件

住所変更届等 0件

恩給欠格者書状等請求指導 16件

3 伊勢市戦争犠牲者追悼式

戦争犠牲者を追悼し、恒久平和を祈念することを目的に、平成18年度伊勢市戦争犠牲者追悼式を開催した。

開催年月日 平成18年10月27日（金）

開催場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア 多目的ホール
 参列者 戦没者、戦災死没者及び引揚げ物故者の遺族 417名
 来賓及び役員 52名

○ 婦人相談関係

女性に対する人権侵害等の悩み、また平成13年10月13日「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の施行により相談及び援助に関わる中で、その問題の解決や処遇を行い、次のとおり成果を収めた。

婦人相談の状況

相談種別	実人員	延べ件数
夫等の暴力（DV）	45 人	465 件
離婚問題	22	25
夫等の問題（酒乱・薬物中毒等）	2	2
子どもの問題 （子どもの暴力・養育不能等）	9	17
親族の問題 （親・その他親族の暴力等）	5	6
その他の人間関係	4	7
経済関係 （借金・生活困窮等）	6	12
医療関係	4	6
合計	97	540

一時保護の状況 4件

○ 生活保護関係

健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とした生活保護法の理念に基づいて、適正な保護の実施に努めた。

1 生活保護法による扶助実施状況

区分 月別	被保護 世帯数	被保護 人員	保 護 の 状 況							
			生活 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	介護 扶助	医療 扶助	出産 扶助	生業 扶助	葬祭 扶助
4	世帯 851	人 1,163	人 1,027	人 803	人 89	人 160	人 931	人 0	人 19	人 0
5	856	1,169	1,035	810	91	160	948	0	20	1
6	862	1,176	1,037	822	88	161	957	0	20	2

7	世帯 863	人 1,181	人 1,046	人 826	人 92	人 155	人 961	人 0	人 21	人 0
8	858	1,171	1,027	812	84	161	946	0	18	0
9	862	1,175	1,023	812	82	157	951	0	16	1
10	864	1,170	1,025	799	86	157	951	0	16	2
11	868	1,178	1,032	804	87	159	975	0	16	0
12	874	1,187	1,052	820	88	164	966	0	14	1
1	869	1,174	1,035	806	82	163	958	0	13	1
2	867	1,174	1,033	808	84	162	972	0	18	0
3	862	1,179	1,029	816	81	158	970	1	24	1
累計	10,356	14,097	12,401	9,738	1,034	1,917	11,486	1	215	9

2 扶助費支給状況

種 別	延べ世帯数	延べ人員	支出金額	構 成 比
	世帯	人	円	%
生活扶助	8,801	12,401	578,297,463	30.24
住宅扶助	6,907	9,738	172,472,753	9.02
教育扶助	649	1,034	6,916,617	0.36
介護扶助	1,824	1,917	43,538,304	2.28
医療扶助	9,084	11,486	1,075,322,754	56.23
出産扶助	1	1	14,240	0.00
生業扶助	210	215	2,115,508	0.11
葬祭扶助	9	9	2,008,952	0.11
小 計	27,485	36,801	1,880,686,591	98.35
保護施設事務費	216	216	31,534,112	1.65
合 計	27,701	37,017	1,912,220,703	100.00

○ 福祉施設管理関係

地域福祉の活動拠点となる福祉施設の管理を行い、心身障害者、老人、児童等の福祉の向上と市民の健康増進を図った。なお、平成 18 年 9 月 1 日から福祉健康センター及びみなとデイサービスセンターに指定管理者制度を導入し、サービスの向上を図った。

(1) 福祉健康センター

ア 施設の内容

身体障害者福祉センター

老人福祉センター

中央児童センター

心身障害者小規模授産施設（ひまわり授産所）

会議室（１・２で老人デイサービス）（３・４・５は会議、研修等）

中央保健センター

休日応急診療所（内科・小児科・歯科）

イ 管理委託先及び委託料（建物管理経費分）

社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会 13,627,680 円

委託期間 平成 18 年 4 月 1 日から平成 18 年 8 月 31 日まで

ウ 指定管理者及び指定管理料（建物管理経費分）

社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会 23,024,618 円

指定期間 平成 18 年 9 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで

エ 利用及び使用状況

区分 月別	身体障害者福祉センター	老人福祉センター	中央児童センター	会議室	保健センター	休日応急診療所	ヘルストロン	地域包括支援センター	行事等による複数利用	計
4	人 2,645	人 2,962	人 1,812	人 1,616	人 2,560	人 978	人 1,983	人 370	人	人 14,926
5	2,702	2,995	1,428	1,637	2,966	1,426	1,766	123		15,043
6	3,226	2,765	1,534	1,848	3,145	696	2,173	132		15,519
7	2,823	3,127	2,096	1,748	3,117	1,078	1,924	134		16,047
8	2,958	2,681	2,783	1,836	3,831	606	1,713	153	1,500	18,061
9	2,795	2,831	1,415	1,442	2,521	816	1,895	142		13,857
10	2,795	2,873	1,485	1,745	2,951	782	1,952	136		14,719
11	2,789	2,974	1,312	1,579	2,724	1,188	1,802	119		14,487
12	2,836	2,435	1,346	1,242	2,571	1,218	1,658	167		13,473
1	2,918	2,196	1,314	1,463	2,636	1,510	1,720	141		13,898
2	2,904	3,373	1,712	1,417	3,036	1,912	1,741	129		16,224
3	3,036	3,037	1,955	1,719	3,136	2,526	1,960	162		17,531
合計	34,427	34,249	20,192	19,292	35,194	14,736	22,287	1,908	1,500	183,785

オ 使用料収入

区分 月別	センター使用料	附属設備器具使用料	冷暖房使用料	計
4	円 331,600	円 0	円 0	円 331,600
5	21,000	4,300	0	25,300
6	10,800	0	1,020	11,820
7	10,700	0	4,700	15,400
8	6,000	2,050	10,330	18,380
9	19,400	1,540	7,280	28,220
10	12,600	3,260	0	15,860
11	10,600	1,230	0	11,830
12	7,000	0	3,480	10,480
1	39,200	2,500	9,000	50,700
2	8,750	3,360	12,860	24,970
3	19,000	0	1,640	20,640
合計	496,650	18,240	50,310	565,200

カ 施設の整備

施工場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
八日市場町 地内	伊勢市福祉健康センター地絡方向性継電器修繕工事	地絡方向性継電器及びSOG修繕工事 一式	円 415,800	H19. 2. 22	H19. 3. 9

(2) みなとデイサービスセンター

ア 施設の内容

デイサービスセンター

在宅介護支援センター

イ 委託先及び委託料（建物管理経費分）

社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会 816,860 円

委託期間 平成 18 年 4 月 1 日から平成 18 年 8 月 31 日まで

ウ 指定管理者及び指定管理料（建物管理経費分）

社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会 2,320,140 円

指定期間 平成 18 年 9 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで

エ 施設の整備

施工場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
神 社 港 地 内	伊勢市みなとデイサービスセンター 排水設備設置工事	下水道排水設備切替工事 一式	円 370,650	H18.7.14	H18.8.11

施工場所	委 託 業 務 名	業務概要	金 額	着 手	完 了
神 社 港 地 内	伊勢市みなとデイサービスセンター 浄化槽清掃業務委託	浄化槽清掃 一式	円 1,152,900	H18.8.8	H18.10.20

○ 社会福祉協議会関係

伊勢市社会福祉協議会を通じて、市民の多様なニーズに即応した福祉サービスの提供など、地域福祉の推進に大きな役割を果たした。

1 福祉ボランティア育成事業

市民ボランティアの活動拠点としてボランティアセンターを設置し、地域住民の福祉ニーズに応じた福祉の担い手養成のため、ボランティア活動の助成及び講座等の開催を行った。

- (1) ボランティアセンター登録 個人登録 263 人 団体登録 111 団体（延 3,555 人）
- (2) ボランティアグループ 30 団体へ活動支援として助成金を交付した。
- (3) 福祉協力校に登録する小中高校 36 校へ福祉教育の支援として助成金を交付した。
- (4) ボランティア養成講座、サマーボランティアスクール、ボランティア体験講座等を開催した。

2 伊勢市社会福祉大会の開催

第 2 回伊勢市社会福祉大会を伊勢市と共催した。市内の福祉関係者が一堂に会し、福祉功労者を顕彰し、併せて地域福祉の啓発のため、福祉講演会を行った。

開催年月日 平成 19 年 2 月 11 日（日）

開催場所 伊勢市ハートプラザみその

顕彰者 団体 5、個人 32（うち市長感謝状 団体 2、個人 2）

参加者 373 人

講演会 講師 NPO 法人デイサービスこのゆびとーまれ理事長 惣万佳代子 氏

「あったか地域の大家族・富山型デイサービスの 13 年」

3 ふれあいのまちづくり事業

ふれあいを通じて、住民が共に地域で支えあうまちづくり体制と、地域特性を活かした創意と工夫による生活支援のしくみづくりを推進するため、各種事業を実施した。

(1) 地域福祉コーディネーターの設置

事業の企画立案や地域住民と関係機関とのネットワークづくりを行った。

(2) 無料法律相談

弁護士が生活問題を抱えている住民の方の相談に応じた。

実施回数 24回 相談者延人数 84人

(3) 心配ごと相談事業

民生委員・児童委員が相談員となって、住民の身近な相談窓口として、様々な相談に応じた。

実施回数 48回 相談者延人数 59人

(4) 福祉出前トークの開催

福祉サービスや福祉情報、社会福祉協議会が行う各種事業の紹介をするとともに、地域の福祉課題について話し合い、福祉ニーズを把握するため、社協職員が地域に出向いて講演等を行った。

実施回数 34回 参加者数 620人

(5) 配食サービス

社会福祉施設等と連携し、民生委員及び市民ボランティアの参加を得て、一人暮らし高齢者を対象に配食サービスを実施し、住民参加と地域福祉の啓発を行った。

実施回数 141回 延利用者数 3,237人

(6) ふれあいいきいきサロン事業

地域住民やボランティア、福祉団体が主体となって実施するふれあいいきいきサロンへ助成を行い、住民が明るく住み良い福祉のまちづくりを推進した。

	サロン設置数	実施回数	延参加者数
高齢者サロン	47ヶ所	462回	10,153人
子育てサロン	13ヶ所	119回	3,337人

(参考)

社会福祉協議会 その他の主な地域福祉活動

1 小地域ネットワーク事業の推進

(1) 地域見守り活動事業（共同募金配分金事業）

地域の子どもや高齢者に地域の見守り活動を積極的に行えるよう、自治会、老人クラブ、ボランティア、福祉関係機関等46団体に活動助成を行い、一人暮らし高齢者や高齢者世帯等の見守り活動、登下校時の見守りや声かけ運動の活動などの事業を展開した。

(2) 一人暮らし高齢者乳酸菌等宅配サービス事業（共同募金配分金事業）

安否確認を含めた乳酸菌飲料の配達を宅配業者の協力のもとに行い、一人暮らし高齢者が地域で安心して生活が出来るよう推進を図った。

登録者数 63人 延利用回数 18,885回

2 地域の福祉組織化の推進

- | | | |
|----------------------------|-------|---------------------|
| (1) こども会等活動助成事業（共同募金配分金事業） | 助成団体 | 92 団体 |
| (2) 児童公園遊具等整備補修助成事業 | 助成団体 | 18 団体 |
| (3) 一人親世帯小学校入学児童お祝い会 | 参加者数 | 24 人 |
| (4) 一人暮らし高齢者会食ふれあい事業 | 延実施回数 | 142 回 延利用者数 3,604 人 |

3 募金関係

(1) 共同募金運動

三重県共同募金会伊勢市支会として10月から共同募金運動を自治会、各福祉団体、ボランティアの協力を得て一般募金と歳末たすけあい募金を一元化して展開した。

募金総額 23,313,179円

(内訳) 戸 別 募 金	19,138,501 円
法 人 募 金	1,858,953 円
街 頭 募 金	1,261,427 円
学 校 職 域 募 金	988,961 円
そ の 他	65,337 円

こ ども 課

○ 児童福祉関係

1 児童福祉施設の状況

(1) 保育所

保護者が労働に従事し、又は疾病等のため家庭保育に欠ける児童を、家庭状況調査の上、入所決定し、健全育成を図った。

ア 保育所の入所状況

(ア) 公立保育所

区分 施設名	入 所 の 状 況											延 べ 保 人 育 員
	定員	入 退 所 人 員			年 齢 別 入 所 人 員 (3月31日現在)							
		4.1	退 所	入所	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	
明 倫	人 90	人 97	人 13	人 23	人 8	人 18	人 18	人 21	人 18	人 24	人 107	人 1,223
一 之 木	60	10	0	0	0	0	0	0	2	8	10	120
浜 郷	120	126	5	16	11	12	25	29	28	32	137	1,600
中 島	60	55	6	7	0	0	9	14	18	15	56	658
宮 後	60	12	0	0	0	1	5	6	0	0	12	144
さくらぎ	90	71	2	8	3	6	17	17	16	18	77	901
あさま	90	53	0	9	5	10	10	13	10	14	62	678
大世古	150	158	7	21	9	22	30	38	31	42	172	1,999
二見浦	200	151	8	16	6	8	14	45	40	46	159	1,895
五 峰	90	102	2	10	5	6	12	31	30	26	110	1,284
高 城	60	49	3	4	1	3	6	14	14	12	50	594
あけぼの	90	103	3	12	5	23	18	19	23	24	112	1,316
しらとり	60	69	6	6	0	0	8	17	26	18	69	834
ゆりかご	110	126	10	19	10	18	29	24	34	20	135	1,609
御菌第一	180	187	4	10	4	13	23	53	48	52	193	2,303
御菌第二	150	87	3	12	9	12	6	22	25	22	96	1,087
合 計	1,660	1,456	72	173	76	152	230	363	363	373	1,557	18,245

(イ) 私立保育所

区分 施設名	入 所 の 状 況											延 べ 保 育 人 員
	定員	入 退 所 人 員			年 齢 別 入 所 人 員 (3月31日現在)							
		4.1	退所	入所	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	
大 湊	人 90	人 86	人 2	人 12	人 6	人 4	人 15	人 16	人 32	人 23	人 96	人 1,103
一 色	120	137	1	9	9	11	17	41	34	33	145	1,715
村 松	45	39	3	7	3	5	8	11	6	10	43	525
船 江	120	99	5	21	15	14	16	21	23	26	115	1,268
たけのこ	120	113	7	15	11	22	19	23	23	23	121	1,396
マリア	120	119	7	23	17	22	23	23	23	27	135	1,534
東大淀	90	73	3	9	5	6	9	19	22	18	79	906
豊浜西	120	127	2	15	14	13	26	36	27	24	140	1,619
みどり	60	36	3	2	1	2	2	9	10	11	35	439
有 滝	60	51	2	4	4	7	5	14	11	12	53	624
中 須	90	103	2	8	4	15	21	20	21	28	109	1,306
佐 八	90	93	10	12	6	9	9	19	27	25	95	1,136
みややま	90	79	3	16	9	8	17	18	17	23	92	1,050
なかよし	45	51	7	15	11	11	13	6	5	13	59	676
合 計	1,260	1,206	57	168	115	149	200	276	281	296	1317	15,297

運営経費 971,036,290 円

イ 特別保育事業

仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を支援し、安心して子育てができる環境を整備するため、各種の特別保育事業を実施した。

(ア) 保育所地域活動事業

公私立保育所全施設において、地域住民が主体的に子育てに関われるようにし、多世代の交流を促進した。

(イ) 障害児保育事業

集団保育が可能で、日々通所ができる児童について保育を行い、障害児保育の充実を図った。

区分	重 度	中 度	計	保 育 所 (園)
公 立	16 人	22 人	38 人	明倫、一之木、浜郷、中島、さくらぎ、大世古五峰、高城、あけぼの、しらとり、ゆりかご御園第一、御園第二
私 立	5	5	10	大湊、一色、村松、船江、マリア、東大淀豊浜西、なかよし
合 計	21	27	48	—

(ウ) 地域子育て支援センター事業

明倫保育所において、子育て家庭の支援活動の企画調整を実施するため、専任の保育士2名を配置し、育児不安についての相談指導、子育てサークル等への育児支援を図った。

- 事業内容
- ・ 育児相談 相談件数 85 件
 - ・ 保育室の開放「すくすく子育て」 毎週水曜日
遊び指導、絵本読み聞かせ 利用者 延べ 1,261 人
 - 「子育てサロン」 毎週火曜日
地域の母親と子供の交流 利用者 延べ 1,275 人
 - ・ 園庭開放 月曜日から金曜日
利用者 延べ 98 人
 - ・ サークル活動支援 2 サークル活動支援
 - ・ わくわく広場 2 回実施 中央児童センター 87 人
 - ・ 子育て支援広場 2 回実施 宮本・神社コミュニティーセンター
43 人

(エ) 延長保育促進事業（交付金事業）

早朝から保育所を開所し、11 時間を超えて、さらに 30 分、1 時間の延長保育を行い保護者の利便を図った。

実施保育所

大世古保育所	開所時間	午前 7 時 15 分から午後 7 時 15 分	延べ 173 人
たけのこ保育園		午前 7 時から午後 7 時	延べ 152 人
船江保育園		午前 7 時から午後 7 時	延べ 57 人
みややま保育園		午前 7 時から午後 7 時	延べ 6 人
なかよし保育所		午前 6 時 30 分から午後 9 時	延べ 193 人

(オ) 乳児保育促進等事業

年度当初において保育士配置基準を超えて乳児保育のための保育士を配置し、年度途中入所の需要に対応した。

実施保育所 たけのこ保育園、マリア保育園

(カ) その他の保育事業

・低年齢児保育推進事業

定員の1割以上の0、1歳児が入所する保育所に対して、0、1歳児保育の推進を図るため、保育士配置基準を緩和して保育士を配置した。

実施保育所 公立 8箇所 0、1歳児 延べ 1,669人
 私立 12箇所 0、1歳児 延べ 2,265人

・延長保育促進事業（職員処遇改善分）

通常の保育時間を超えて、9時間以上の保育を実施している保育所へ補助し、職員の処遇改善を図った。

実施保育所 私立 13ヶ所

・一般保育事業

私立保育所と公立保育所の格差是正のため、補助金を交付し、私立保育所運営の円滑化を図った。

ウ 電話による乳幼児の育児相談

家庭で乳幼児の育児に悩む保護者を対象に、保育所が地域における身近な相談窓口（主に電話相談）という専門機能を生かし、相談事業を実施して保護者の育児不安の解消と乳幼児の健全育成を図った。

(ア) 実施保育所 大世古保育所

(イ) 電話相談実施日数 246日

(ウ) 電話相談実施状況

区分	相談内容			計
	基本的な生活習慣	発育・発達	その他	
相談件数	7件	6件	7件	20件

エ 保育所施設の整備

保育所及び子育て支援センター「きらら館」の建設を行った。

施行場所	工事（委託）名	工事（委託）概要	金額	着工	完工
常磐2丁目地内	(注1)(注2) 保育所新施設建設 工事設計業務委託	鉄骨造 2階建 1,012.0㎡程度	円 4,294,500	18. 3.10	18. 5.15
〃	(注1) 保育所新施設建設 工事地質調査業務 委託	地質調査 1箇所 延長 15m	744,450	18. 3.16	18. 4.17

〃	(注2) 保育所新施設(建築工事)	鉄骨造 2階建 延床面積 1,119.50 m ² 附帯工事 車寄上屋・渡り廊下 屋外倉庫・園庭整備 自転車置場 駐車場整備 門及びフェンス整備	円 158,548,950	18. 7. 11	19. 2. 28
〃	(注2) 保育所新施設建設 工事監理業務委託	鉄骨造 2階建 延床面積 1,119.50 m ²	1,785,000	18. 7. 19	19. 2. 28
〃	(注2) 保育所新施設(電気設備工事)	受変電設備 動力設備 電灯・コンセント設備 テレビ共聴設備 放送設備 インターホン等設備 電話・情報設備 火災報知設備 太陽光発電設置 各一式	20,932,800	18. 7. 21	19. 2. 28
〃	(注2) 保育所新施設(機械設備工事)	給水設備 排水通気設備 衛生設備 給湯設備 都市ガス設備 合併浄化槽設備 市水道引込設備 空調換気設備 各一式	38,077,200	18. 7. 21	19. 2. 28
〃	(注2) 保育所新施設太陽 光発電システム設 置工事	太陽光発電システム設置 太陽電池 インバータ 連系保護装置 計測装置 表示装置 各一式	9,964,500	18. 12. 22	19. 2. 28
〃	保育所新施設CATV 接続工事	CATV配線工事 一式	75,600	18. 12. 25	19. 3. 20
〃	(注2) 保育所新施設建設 工事に伴う屋外遊 具設置及び進入路 整備工事	屋外遊具設置 解体 外構 各一式	11,254,950	18. 12. 28	19. 2. 28
〃	保育所新施設ネッ トワーク新設工事	LAN配線工事 一式	416,850	19. 2. 1	19. 3. 23
〃	きらら館太陽光連 系工事	太陽光発電システム電力 連系工事 一式	121,165	19. 2. 8	19. 2. 20

〃	保育所新施設目隠しフィルムほか設置工事	ガラスフィルム ブラインド カーテン 各一式	円 1,281,000	19. 2. 16	19. 2. 28
〃	保育所新施設電話回線新設工事	電話回線工事 一式	73,710	19. 2. 19	19. 3. 14
計	13 件	—	247,570,675	—	—

(注1) 平成17年度から繰越 (注2) 建築住宅課施行

保育所地震対策として、耐震補強設計と工事を実施した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着工	完工
二見町 山田原 地内	(注1) 五峰保育園耐震補強 設計業務委託	耐震補強設計委託 東西棟 鉄骨造 平家建 延床面積 365.16 m ² 南北棟 鉄骨造 平家建 延床面積 286.92 m ²	円 1,554,000	18. 6. 13	18. 9. 8
二見町 山田原 地内	(注1) 五峰保育園耐震補強 工事	五峰保育園ブレースによる耐 震補強 X軸方向 19ヶ所 Y軸方向 12ヶ所	18,205,950	18.11.2	19. 3. 15
計	2 件	—	19,759,950	—	—

(注1) 建築住宅課施行

保育所施設の機能の維持を図るため、次のとおり業務を委託した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着工	完工
朝熊町地内	あさま保育所白 蟻駆除業務委託	保育所内の白蟻駆除	円 577,080	18.10. 6	18.12.28
吹上2丁目 地内	明倫保育所浄化 槽清掃業務委託	汚泥引抜 槽内高圧洗浄・洗浄水及び余 剰汚泥引抜 槽内消毒作業 附属機器・浄化槽内機器手撤 去処分 既設導入管・放流配管処理 水張り(水道水支給) 各一式	278,250	19. 2. 1	19. 3. 2
御菌町高向 地内	御菌第二保育園 浄化槽清掃業務 委託	浄化槽の汚泥全量引抜き清掃 及び洗浄	100,737	19. 2. 23	19. 3. 20
計	3 件	—	956,067	—	—

保育所施設の機能の維持を図るため、次のとおり工事を実施した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
吹上2丁目 地内	(注2) 明倫保育所排水 設備設置工事	管布設工 L= 91m ます設置工 22箇所	円 1,402,800	18. 9. 12	19. 1. 15

二見町今一色地内	(注2) 高城保育園排水設備設置工事	管布設工 L=101.8m ます設置工 17箇所	円 1,527,750	18.10.24	18.12.27
御菌町長屋地内	(注3) 御菌第一保育園駐車場造成工事	排水工 L=48.8m 舗装工 A=681.2㎡ 擁壁工 L=41.9m	6,253,800	18.12.1	19.3.13
御菌町高向地内	(注2) 御菌第二保育園排水設備工事	管布設工 L=68.1m ます設置工 31箇所 公共ます設置工 2箇所	1,984,500	18.12.5	19.2.2
御菌町長屋地内	(注2) 御菌第一保育園排水設備工事	管布設工 L=151.1m ます設置工 39箇所	2,667,000	19.1.3	19.3.29
大世古4丁目地内	(注1) 大世古保育所照明設備改修工事	事務室・保育室・ほふく室・乳児室・給食室・便所・テラス等照明設備改修 取替箇所 49ヶ所	1,197,000	19.1.30	19.3.5
計	6件	—	15,032,850	—	—

(注1) 建築住宅課施行 (注2) 上下水道総務課施行 (注3) 御菌総合支所産業建設課施行

(2) 助産施設

保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所措置し、保健の向上を図った。

施設名	入所措置	
	措置人員	延べ措置日数
山田赤十字病院	3人	19日

(3) 母子生活支援施設

18歳未満の児童を持つ母子世帯であって、その児童の福祉に欠ける母子を入所措置し、社会の共同生活に適応できるよう生活指導及び自立への支援を行った。

施設名	入所措置		措置費
	措置世帯	措置期間	
サラナ	5世帯	4～3月	10,528,138円
菜の花苑	1世帯	7～3月	1,712,003円
計	6世帯		12,240,141円

(4) 児童館・児童センター

児童センターを利用した児童に遊びと運動等の必要な指導を行うとともに、地域の子ども会、母親クラブ等の組織活動の育成助長を図り、児童の健全育成に努めた。

施設名	区分 開館 日数	児童の利用数				その他の 利用者	総入館 者数
		幼児	小学生	中学生	計		
あさま児童センター	日 301	人 634	人 3,429	人 68	人 4,131	人 1,272	人 5,403
黒瀬児童センター	301	980	3,762	423	5,165	1,462	6,627
中央児童センター	301	6,863	10,824	1,417	19,104	1,088	20,192
明照児童館（民間）	343	995	11,371	261	12,627	3,581	16,208
計	1,246	9,472	29,386	2,169	41,027	7,403	48,430

2 心身障害児通園施設（おおぞら児童園）

(1) 発達療育

- ・食事や排泄、衣服の着脱の自立を目指すなど、基本的な生活習慣の指導を行った。

月曜～金曜 9：00～12：00 ※週3日は～15：00

利用児童数 延べ 1,914人

(2) 機能回復訓練

- ・理学療法士が個々の状態にあわせた機能回復訓練を行った。

週1回 9：00～12：00 健康課理学療法士

利用児童数 延べ 111人

(3) 言語訓練

- ・言語に障がいや遅れのある児童に言語訓練を行った。

毎週月曜日 9：00～16：00 言語聴覚士

利用児童数 延べ 129人

(4) 感覚運動あそび

- ・保育士や音楽講師による小集団でのコミュニケーション訓練を行った。

月曜、水曜～金曜 8：45～9：45 349名

13：30～15：30 743名

利用児童数 延べ 1,092人

3 放課後児童対策事業

昼間、保護者のいない家庭の小学校低学年児童等について、放課後児童の育成指導等、遊びを主とする健全育成活動を行った。

児童クラブ名	児童数	開設日数	委託金額
杉の子学童クラブ	29 人	286 日	2,046,000 円
すみれ学童クラブ	26	294	3,045,000
明照こどもクラブ	52	291	2,643,000
ひまわり学童クラブ	27	294	2,046,000
はまっこ学童クラブ	27	293	2,046,000
とよはま学童クラブ	14	236	1,478,000
放課後学童クラブリンドバーグ	20	291	2,046,000
藍ちゃんの家 ふぁみりーくらぶ学童部	16	293	2,183,000
合 計	211	—	17,533,000

(注) 児童数は毎月初日の平均利用児童数

4 乳幼児健康支援一時預かり事業

病気のために学校、幼稚園、保育所にて集団保育が困難で、家庭でも保育することが出来ない子どもを一時的に預かり、就業と子育て両立を支援した。

	伊勢市	玉城町	度会町	計	委託先
児童数	373 人	8 人	6 人	387 人	神田小児科 病児保育エンゼル
延べ日数	829 日	15 日	11 日	855 日	

5 子育て支援ショートステイ事業

保護者の疾病、出産等の理由により、一時的に家庭における児童の養育が困難となった場合に、施設において当該児童の養育、保護を行うため、市内3施設（精華学院、天理教三重互助園、サラナ）と事業委託契約を交わした。

件数	延べ利用日数	利用（稼働）日数	施設名	事業費
2 件	21 日	11 日	精華学院	141,500 円

6 ファミリー・サポート・センターの運営

児童福祉の向上及び仕事と家庭の両立を支援するため、依頼会員の要望に応じて提供会員を紹介し、相互の信頼と了解の上で、一時的に児童を預かる会員組織であるいせファミリー・サポート・センターの運営の充実を図った。

平成 19 年 3 月末現在

会 員 数				活動件数	委託先	委託金額
依頼 会員	提供 会員	両方 会員	計			
239 人	167 人	39 人	445 人	2,362 件	NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク	7,753,095 円

7 児童手当の支給

一定の要件を満たす児童を養育し、かつ定められた所得未満の者に対して児童手当を支給し、児童の健全育成を図った。

区 分	年度当初 (4月) 受給者数	年度末 (3月) 受給者数	支 給 の 状 況		
			支払件数	延べ対象 児 童 数	金 額
被 用 者 児 童 手 当	人 1,531	人 1,869	件 6,099	人 24,227	円 136,225,000
非 被 用 者 児 童 手 当	605	568	1,897	7,827	45,510,000
特 例 給 付	331	30	416	1,021	5,595,000
被 用 者 小 学 校 修 了 前 特 例 給 付	3,198	4,745	12,930	78,651	439,100,000
非 被 用 者 小 学 校 修 了 前 特 例 給 付	1,137	1,670	4,563	26,826	152,845,000
計	6,802	8,882	25,905	138,552	779,275,000

8 児童扶養手当に係る事務

父親がいないか、又は父親と生計を同じくしていない児童の心身の健やかな成長に寄与するため支給される児童扶養手当の認定等の事務と支給業務を次のとおり行った。

3 月 末 資 格 者 数	支 給 額
1,209 人	506,116,970 円

各種届

新規認 定請求	額改定	資格 喪失	氏名 変更	転入	転出	住所 変更	その他	計
161 件	13 件	62 件	17 件	15 件	28 件	57 件	70 件	423 件

9 相談指導

(1) 家庭児童相談

児童育成の基盤である家庭における児童養育に関する種々の問題について、家庭児童相談室で相談指導等の対応を行い、児童福祉の増進を図った。

相談内容	性格・生活習慣	知能・言語	学 校 生 活			非 行	家 族 関 係		環 境 福 祉	障 害	そ の 他	計
			人 間 関 係	不 登 校	そ の 他		虐 待	そ の 他				
相談件数	2件	0件	6件	0件	3件	0件	42件	20件	0件	0件	0件	73件

10 児童虐待防止活動

児童虐待の未然防止、早期発見及び被虐待児童の迅速かつ適切な保護等をより円滑に行うため、伊勢市児童虐待防止ネットワーク会議を設置し、開催した。

伊勢市児童虐待ネットワーク会議：平成17年11月1日設置

委員15人 実務者会議委員17人

- (1) ネットワーク会議 1回開催
- (2) 実務者会議 3回開催
- (3) 虐待ケース会議 14回開催
- (4) 児童虐待防止広報・啓発活動

『広報いせ』3月号へ児童虐待の発見・通告を呼びかける記事（2ページ）を掲載した。

11 次世代育成支援地域行動計画の推進

(1) 次世代育成支援対策推進法（平成15年7月16日公布）の制定に伴い、平成17年3月に策定した次世代育成支援行動計画の推進を図るため、下記のとおり協議会を開催した。

① 伊勢市次世代育成支援対策推進協議会の開催 8月・2月

委員組織：学識経験者、医療関係者、福祉関係者、教育関係者、商工関係者、労働関係者、市民・保護者関係者、行政関係者

(2) 城田地区青少年健全育成協議会において、城田地区における次世代育成支援対策を検討するため、次世代育成支援対策専門委員会が開催された。 5月・3月

12 児童福祉施設等入所措置児童の状況

家庭において福祉に欠ける市内の児童の児童福祉施設等への入所状況は、次のとおりであった。

施設等	区 分	前年度末 入所児童数	年 度 途 中 の 移 動		年 度 末 入所児童数
			入所児童数	退所児童数	
児 童 養 護 施 設		24 人	4 人	1 人	27 人
知的障害児施設		10	2	4	8
肢体不自由児施設		0	2	1	1
重症心身障害児施設		10	1	7	4
乳 児 院		1	2	1	2
第一種自閉症児施設		3	3	3	3
児童自立支援施設		2	3	3	2

里	親	5	1	0	6
	計	55	18	20	53

○ 母子・寡婦福祉関係

1 母子・寡婦福祉資金貸付状況

母子家庭及び寡婦に対して、資金を貸し付け、生活意欲の助長と経済的自立を図った。

区 分	母 子		寡 婦	
	件 数	金 額	件 数	金 額
修 学 資 金	2 件	3,240,000 円	0 件	0 円
就 学 支 度 資 金	1	580,000	0	0
技 能 習 得 資 金	0	0	0	0
計	3	3,820,000	0	0

2 母子・寡婦相談状況

母子家庭及び寡婦の身上相談に応じ、その自立に必要な指導を行った。

区 分	相 談 内 容				計
	生 活 一 般	児 童	生 活 援 護	そ の 他	
相 談 件 数	33 件	13 件	117 件	17 件	180 件

長 寿 課

○ 老人福祉関係

1 老人ホーム入所措置事業

(1) おおむね 65 歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。

施設名	年度当初 入所者数	年度中の 入退所者数		年度末 入所者数	年間 延べ措置人員	措 置 費
		入所者	退所者			
高田慈光院	人 2	人 0	人 0	人 2	人 24	円 4,008,265
梨ノ木園(盲)	3	0	0	3	36	8,610,694
清和の里	1	0	0	1	12	2,717,226
花園寮	1	0	0	1	12	1,836,299
高砂寮	29	5	3	31	362	61,994,403
万亀会館	97	13	15	95	1,141	182,950,965
合 計	133	18	18	133	1,587	262,117,852

(2) 老人ホーム入所判定状況

老人ホームへ入所の申出のあった高齢者に対して、5 回入所判定委員会を開催し、入所措置の要否の判定を受けた。

前年度末 待機者数	申請者数	判定回数	要措置と判定 された件数	保留件数	却下件数	今年度末 待機者数
10 人	33 人	5 回	33 件	0 件	0 件	22 人

2 老人クラブ補助金事業

地域老人クラブ及び老人クラブ連合会の活発な活動を助長するため、高齢者福祉を増進する諸事業に対して助成した。

(1) 単位老人クラブ	193 クラブ
会 員 総 数	12,718 人
1 クラブ平均会員数	66 人
助 成 金	8,980,600 円
(2) 単位老人クラブ（重点配分事業）	3 クラブ
助 成 金	291,000 円
(3) 伊勢市老人クラブ連合会	1 クラブ
助 成 金	3,194,100 円

(4) 健康づくり事業

実施クラブ	伊勢市老人クラブ連合会	
助成金	320,000 円	
事業実績	体力づくり事業	63 名参加（1 回開催）
	グランドゴルフ推進事業	344 名参加（2 回開催）
	健康増進料理講習会	112 名参加（4 回開催）
	軽体操教室	161 名参加（8 回開催）

3 老人いきがい対策事業（伊勢生きがい対策事業団に業務委託）

軽作業を希望する高齢者を対象に、長寿課が窓口になって市内に所在する公共用地等の除草業務を任せ、余暇の活用と心身の健康の維持を図り、高齢者福祉の増進に努めた。

(1) 人権政策課関係分 1,360,000 円

(2) 環境課関係分 8,260,000 円

4 老人乗合バス運賃助成事業

旧伊勢市内在住の 75 歳以上の高齢者を対象に、旧伊勢市内全線有効の寿乗車券（フリーパス方式）を交付し、定期バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして孤立感の解消に努めるとともに、移動に伴う経済的な負担を軽減した。

(1) 事業費 55,358,213 円

(2) 交付者数 5,072 人

5 敬老金支給事業

市内に在住する満 77 歳、88 歳、99 歳の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老金を贈呈した。

	支給金額	人数	計
77 歳	5,000 円	1,456 人	7,280,000 円
88 歳	10,000	376	3,760,000
99 歳	10,000	21	210,000
計	——	1,853	11,250,000

6 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が有効と認められるにも関わらず、申し立てを行う者がいない場合、市長による申し立てを行うとともに、必要経費を助成することにより、成年後見制度の利用促進を図った。また、制度の周知及び啓発を図るため、講演会を開催した。

(1) 申し立て実績

申し立て件数 1 件

助成額 57,890 円

(2) 講演会（演題 成年後見制度を考える～高齢者・障害者の権利を守るために～）

開催日 平成 18 年 12 月 9 日
 場 所 伊勢市福祉健康センター
 事業費 50,000 円

○ 在宅支援事業関係

1 生きがい活動支援通所事業

おおむね 65 歳以上の在宅の高齢者で、介護保険で「非該当」とされた高齢者又は自立とみなされる虚弱な高齢者を対象に、デイサービスセンター等への通所により、教養講座、日常動作訓練、趣味創作活動等サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。

事業所名	利用延べ人員	利用延べ回数	金額
神 路 園	12 人	52 回	125,840 円
双 寿 園	24	101	266,260
伊 勢 あ さ ま 苑	4	10	22,040
社会福祉協議会（伊勢支所）	565	2,086	4,310,080
伊 勢 ま ご こ ろ	423	1,602	3,300,120
藍 ち ゃ ん の 家	22	116	270,500
第 二 藍 ち ゃ ん の 家	1	3	7,260
みなとデイサービスセンター	289	1,125	2,317,500
デイサービスひだまり	4	25	54,740
デイサービスセンターオアシス	21	131	277,420
森伸高柳ケアセンター	12	85	205,340
宮 川 さ く ら 苑	24	95	212,260
楽 寿 苑	12	51	123,420
J A 伊勢介護センターひまわり	4	14	33,520
社会福祉協議会（二見支所）	10	71	171,460
高 砂 寮	33	181	434,060
社会福祉協議会（御菌支所）	46	180	418,680
計	1,506	5,928	12,550,500

2 生活管理指導員派遣事業

おおむね 65 歳以上の介護保険で「非該当」と認定された高齢者又は自立とみなされる虚弱な高齢者等で、基本的な生活習慣の欠如や対人関係が成立しにくいなど社会生活を営むうえで支障のある者に対し、生活管理指導員（ホームヘルパー）を派遣し、基本的な生活習慣が身につくように日常生活や対人関係の構築、家事等に関する指導及び支援を行い要介護状態への進行を予防した。

派遣施設	ホームヘルパー派遣延べ人数	訪問延べ回数	金額
伊勢市社会福祉協議会 (伊勢支所)	15人	59回	113,984円
伊勢市社会福祉協議会 (二見支所)	24	135	252,720
伊勢市社会福祉協議会 (小俣支所)	9	62	116,064
計	48	256	482,768

3 日常生活用具給付等事業

低所得の寝たきり高齢者又はひとり暮らし高齢者等に対して、在宅生活の支援及び負担軽減を図るため、日常生活用具の給付・貸与を行うことにより当該高齢者の日常生活の便宜を図り、福祉の増進に寄与した。(事業費 794,074円)

(1) 日常生活用具給付

品目	件数	金額
電磁調理器	1件	15,750円

(2) 福祉電話貸与

65歳以上のひとり暮らし高齢者で、低所得(生活保護受給世帯・市県民税非課税世帯等)のため、電話を設置できない人に電話を設置し、高齢者の安否確認、相談等の便宜を図った。

事務の内容	施策の内容	金額
老人用福祉電話基本料扶助	35台分の基本料金	746,509円
老人用福祉電話設置負担金	2台分の新規設置	12,915
老人用福祉電話廃止移転負担金	7台分の廃止移転	18,900
計		778,324

4 外出支援サービス事業

虚弱及び要援護高齢者等に対し外出支援サービスを行い、高齢者の福祉の向上を図った。(事業費 4,562,864円)

(1) 寝たきり者等へのリフト付タクシーによる外出支援サービス事業

おおむね65歳以上の寝たきり及び下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、医療機関などへ受診するときの移送用車輛(リフト付タクシー等)の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。

事業所名	利用延べ回数	金額
福祉タクシー 西村(有)	356回	961,200円
福祉タクシージョイサポート	98	264,600
三重名鉄タクシー(株)	99	267,300

事業所名	利用延べ回数	金額
株式会社 森伸	646回	1,090,740円
計	1,199	2,583,840

(2) 通院移送サービス事業（旧二見町地域のみ）

おおむね65歳以上の高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、医療機関などへの通院移送を行い、高齢者の福祉の増進を図った。

事業所名	利用延べ回数	金額
社会福祉協議会（二見支所）	1,460回	1,885,424円

5 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、老衰・心身の障害及び傷病等の理由により寝具類等の衛生管理が困難な者に対し、寝具の洗濯、乾燥、消毒のサービスを行い、高齢者の心身のリフレッシュおよび衛生状況の向上を図った。

事業所名	利用実人員	利用延べ回数	金額
三重県クリーニング生活衛生同業組合伊勢支部	8人	9回	51,030円

6 訪問理美容サービス事業

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、老衰・心身の障害及び傷病等の理由により一般の理容店や美容院に出向くことが困難な者に対し、訪問理美容サービスのうち移動にかかる費用等の助成を行い、高齢者の精神及び衛生状況の向上を図った。

（事業費 57,000円）

事業所名	利用実人員	利用延べ回数	金額
伊勢理容組合	9人	36回	36,000円

7 軽度生活援助事業

おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で、日常生活上の援助が必要な高齢者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅での自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行防止を図った。

事業所名	利用延べ人数	利用延べ回数	金額
社団法人 伊勢市シルバー人材センター	278人	573回	727,440円
NPO法人 伊勢まごころ	14	16	33,480
計	292	589	760,920

8 緊急通報体制等整備事業

65歳以上のひとり暮らしで虚弱な高齢者の緊急時における対応が迅速かつ的確に実施できる

よう、緊急通報装置を貸与し、日常生活の安全性の向上に努めた。

(1) 貸与状況

貸 与 状 況				延 べ 貸 与 台 数	委 託 料
年 度 当 初	新 規	撤 去 ・ 休 止	年 度 末		
398 台	21 台	52 台	367 台	4,641 台	15,301,490 円

(2) 通報状況

月	通報件数	電話対応 解 決	協 力 員 確 認 要 請	救 急 車 出 動 要 請	待 機 員 出 動
4 月	10 件	5 件	4 件	1 件	0 件
5 月	8	5	0	3	0
6 月	6	4	0	1	1
7 月	2	1	0	0	1
8 月	8	5	0	3	0
9 月	18	13	2	2	1
10 月	5	1	0	3	1
11 月	9	3	1	5	0
12 月	14	7	2	4	1
1 月	5	2	2	1	0
2 月	2	2	0	0	0
3 月	11	8	0	1	2
計	98	56	11	24	7

9 食の自立支援事業

高齢者の食の自立を目的として、食に関わるサービスの利用調整を行い、要介護状態への進行を予防し、高齢者の福祉の増進を図った。

配食サービス

おおむね 65 歳以上のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で調理困難な虚弱な高齢者に対し、定期的に居宅に訪問して、栄養のバランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認も併せて行い、日常生活の支援を行った。

事 業 所 名	利 用 延 べ 人 員	利 用 延 べ 回 数	金 額
神 路 園	284 人	1,508 回	527,800 円
白 百 合 園	110	628	219,800
八 百 正	845	7,662	2,681,700
ハ ッ ピ ー 食 品	276	1,071	374,850
伊 勢 デ ィ ナ ー サ ー ビ ス	263	2,281	798,350

事業所名	利用延べ人員	利用延べ回数	金額
藍ちゃんの家	935人	8,585回	3,004,750円
計	2,713	21,735	7,607,250

10 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

高齢者の生活面・健康面での不安に対応する為に、高齢者向け優良賃貸住宅正邦苑竹ヶ鼻、高齢者世話付住宅市営リバーサイドせせらぎに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応などのサービスを提供することによって、高齢者が安全かつ快適な生活を営むことができるよう、自立した在宅生活を支援した。

(事業費 9,512,172円)

援助内容	延べ件数
生活指導・相談	55件
安否確認	12,657
一時的な家事援助	3,443
緊急時対応	32
関係機関との連携	114
その他必要な援助	26
計	16,327

11 在宅介護支援事業

在宅介護支援センター活動事業

在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう、関係機関との連絡調整を行い、当該高齢者及びその家族の福祉の増進を図った。

(事業費 7,106,300円)

(1) 実施状況

在宅介護支援センター 9箇所

在宅介護支援センター名	委託先	金額
在宅介護支援センター神路園	社会福祉法人 伊勢医心会	700,000円
在宅介護支援センター双寿園	社会福祉法人 邦栄会	700,000
在宅介護支援センター白百合園	社会福祉法人 福德会	700,000
在宅介護支援センター山咲苑	医療法人社団 愛敬会	700,000
在宅介護支援センター正邦苑	社会福祉法人 慈恵会	700,000

在宅介護支援センター名	委 託 先	金 額
みなと在宅介護支援センター	社 会 福 祉 法 人 伊 勢 市 社 会 福 祉 協 議 会	700,000 円
在宅介護支援センター楽寿苑	社 会 福 祉 法 人 邦 栄 会	700,000
二見ふれあいプラザ	社 会 福 祉 法 人 伊 勢 市 社 会 福 祉 協 議 会	700,000
小俣在宅介護支援センター	社 会 福 祉 法 人 伊 勢 市 社 会 福 祉 協 議 会	700,000
計		6,300,000

(2) 実施内容

ア 相談業務

() 内実人員

在宅介護支援センター名	延べ相談者数	延べ訪問者数
在宅介護支援センター神路園	388 (364) 人	244 人
在宅介護支援センター双寿園	1,003 (890)	620
在宅介護支援センター白百合園	204 (157)	98
在宅介護支援センター山咲苑	106 (69)	61
在宅介護支援センター正邦苑	134 (67)	32
みなと在宅介護支援センター	320 (317)	205
在宅介護支援センター楽寿苑	36 (36)	25
二見ふれあいプラザ	67 (67)	33
小俣在宅介護支援センター	98 (98)	14
計	2,356 (2,065)	1,332

イ 高齢者実態把握

地域の高齢者等の心身の状況及びその家族の状況等の実態を把握するとともに、介護に関するニーズの評価を行う。金額（事業費）は1件あたり 900円。

在宅介護支援センター名	実 施 件 数	金 額
在宅介護支援センター山咲苑	2人	1,800円
在宅介護支援センター正邦苑	1	900
みなと在宅介護支援センター	3	2,700
二見町ふれあいプラザ	1	900
計	7	6,300

ウ 転倒骨折予防教室（健康課分）

高齢者ができる限り要介護状態になることなく健康で生き生きとした老後生活を送れるよう支援する目的のもと、地域の高齢者を対象に転倒骨折予防教室を開催した。

金額（事業費）は1回あたり 10,000円。

在宅介護支援センター名	実施回数	延べ参加者数	金 額
在宅介護支援センター神路園	10回	132人	100,000円

在宅介護支援センター名	実施回数	延べ参加者数	金額
在宅介護支援センター双寿園	15回	225人	150,000円
在宅介護支援センター白百合園	12	134	120,000
在宅介護支援センター山咲苑	8	137	80,000
在宅介護支援センター正邦苑	16	307	160,000
みなと在宅介護支援センター	3	71	30,000
在宅介護支援センター楽寿苑	16	131	160,000
計	80	1,137	800,000

○ 万亀会館関係

平成17年4月から効率的な施設運営を図るため指定管理者制度を導入し、社会福祉法人「伊勢医心会」による運営形態となる。指定期間は、平成22年3月31日までの5年間。

1 入所者の状況

おおむね65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅での生活が困難な者を福祉事務所の入所措置に基づいて、受入れを行った。

(1) 入所者の内訳（平成19年3月31日現在）

年齢 性別	60歳 ～64歳	65歳 ～69歳	71歳 ～74歳	75歳 ～79歳	80歳 ～84歳	85歳 ～89歳	90歳 以上	計
男	1人	0人	1人	6人	5人	4人	1人	18人
女	0	6	5	16	22	15	18	82
計	1	6	6	22	27	19	19	100

・最高年齢 98歳（女） ・最低年齢 63歳（男）

・平均年齢 82.0歳（男80.3歳・女82.4歳）

(2) 入所者の市町村別内訳（平成19年3月31日現在）

市町村別 性別	伊勢市	志摩市	南伊勢町	多気町	計
男	16人	1人	0人	1人	18人
女	79	0	3	0	82
計	95	1	3	1	100

(3) 介護保険法による介護認定状況（平成19年3月31日現在）

要介護 状態 性別	非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	5人	0人	0人	6人	4人	3人	0人	0人	18人

要介護 状態 性別	非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
女	人 11	人 11	人 7	人 25	人 15	人 6	人 5	人 2	人 82
計	16	11	7	31	19	9	5	2	100

2 万亀会館に係る整備及び修繕状況

平成 19 年 4 月から外部サービス利用型特定施設入居者生活介護の事業所指定を受けるため、施設設備の整備を行った。また、老朽化に伴い各所に修繕が発生したため効果的に修繕を行った。

(1) 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二俣町地内	(注 1) 万亀会館非常通報装置設置工事	非常通報設備 (点灯・ブザーのみ「保持回路・復旧ボタン付」)	(注 2) 円 8,460,900	19.2.2	19.3.31

(注 1) 建築住宅課施行

(注 2) 平成 19 年度へ繰越

(2) 修繕

	修繕内容	金額	完工
1	浄化槽ブロワー修繕	円 318,150	18.4.25
2	居室畳下コンパネ張替修繕	309,214	18.5.10
3	フローア-修繕	767,896	18.7.28
4	居室畳修繕	411,000	18.10.20
5	給湯設備 (電気温水器等)	136,500	19.3.19
	計	1,942,760	

○ 地域包括支援センター関係

1 介護予防ケアマネジメント事業 (特定高齢者施策)

基本健康診査の受診者から選定された、特定高齢者 (要支援、要介護状態になる恐れがある高齢者) の候補者に対して、決定を行った。保健師が、特定高齢者決定者に、家庭訪問等を通じて介護予防事業の説明、参加者の意思確認をした上で、必要な対象者に対して、ケアプランの作成を行い、介護予防の推進に努めた。 (単位 人)

特定高齢者 候補者数	特定高齢者 決定者数	ケアプラン 作成件数	内 訳
59	59	8	通所型介護予防事業参加者 8

2 総合相談事業・権利擁護事業

高齢者の生活を福祉、医療、介護、保健など総合的に支えていくために、社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師等が、高齢者本人や家族からの相談に対し、さまざまな制度や社会資源の説明及び支援を行った。

また、高齢者の人権や財産を守るため、地域のさまざまな福祉・保健・医療などの関係機関と連携をとりながら、虐待の防止・早期発見に努めるとともに、悪徳商法などの消費者被害の未然防止や、契約行為の履行のため成年後見制度の活用促進に努めた。

高齢者虐待防止として、高齢者虐待の実態調査を行い現状把握に努めるとともに、高齢者虐待防止ネットワーク運営要綱の作成及び広報・パンフレット等での周知・啓発活動を行った。

(1) 総合相談件数 (単位 件)

相談内容	虐待	福祉	困難	消費	権利擁護	計
相談件数	24	22	29	4	14	93

※虐待相談件数には疑い事例も含む。

(2) 虐待相談内訳 (単位 件)

虐待者	配偶者	息子	娘	嫁	孫	甥	計
件数	3	14	3	2	1	1	24

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

在宅と施設・病院等との連携など、継続的なケアマネジメントができるよう関係づくりを行うとともに、地域の介護支援専門員の抱える困難事例をはじめ、さまざまな日常業務における相談に対し、支援・助言を行った。また、介護支援専門員同士の情報交換や資質向上研修等への協力を行った。

(1) 相談件数 (単位 件)

相談内容	介護支援専門員からの相談	関係機関からの相談	市民からの介護相談	計
相談件数	69	60	182	311

4 介護予防サービス計画作成事業

介護認定審査会で要支援1・要支援2と認定された要支援者に対して、適切な介護予防マネジメントを行い、介護状態の悪化を予防し、自立した生活がおくれるよう支援を行った。

- ・ 家庭訪問によるアセスメント及びケアプランの作成
- ・ 介護予防サービス事業者との担当者会議の開催
- ・ 定期的なモニタリングや評価の実施

(1) 要支援認定者

	要支援 1	要支援 2	計
要支援者	396 人	523 人	919 人
割合	43.1%	56.9%	100%

(平成 19 年 3 月末現在)

(2) 要支援認定者のうち介護予防サービス利用者のケアプラン作成件数（認定別）

	要支援 1	要支援 2	作成件数
直営	86 件	147 件	233 件
委託	82	143	225
計	168	290	458

(平成 19 年 3 月末現在)

※ ケアプラン作成委託事業所 30 事業所

(うち、平成 19 年 3 月末時点ケアプラン作成事業所 24 事業所)

(3) ケアプラン作成件数および作成料（月別）

作成料はケアプラン 1 件あたり 4,000 円（新規については 1 件あたり 2,500 円の加算あり）

	直 営		委 託		計	
	作成件数	作成料	作成件数	作成料	作成件数	作成料
4 月	8 件	52,000 円	24 件	156,000 円	32 件	208,000 円
5 月	20	110,000	54	296,000	74	406,000
6 月	46	239,000	76	371,500	122	610,500
7 月	61	294,000	102	475,500	163	769,500
8 月	87	423,000	130	607,500	217	1,030,500
9 月	121	561,500	137	580,500	258	1,142,000
10 月	151	684,000	151	669,000	302	1,353,000
11 月	152	638,000	171	754,000	323	1,392,000
12 月	160	677,500	181	759,000	341	1,436,500

	直 営		委 託		計	
	作成件数	作 成 料	作成件数	作 成 料	作成件数	作 成 料
1 月	176 件	759,000 円	193 件	819,500 円	369 件	1,578,500 円
2 月	191	829,000	188	787,000	379	1,616,000
計	1,173	5,267,000	1,407	6,275,500	2,580	11,542,500

※ 平成18年4月～平成19年2月

(現物給付分は3月から翌年2月分までのサービス提供に係る保険給付をひとつの会計年度として取り扱うこと等による。)

障 がい 福 祉 課

○ 身体障害者福祉関係

1 身体障害者手帳の交付

身体障がい者の自立更生の援助と生活の安定を図るため、次のとおり身体障害者手帳を交付した。

(1) 新規交付数等移動状況

区 分		4 月 1 日	新 交	規 付	転 入	転 死 変	出 亡 更	3 月 末
障がい		手帳交付数						手帳交付数
肢体障がい者	児	62		5	—		△8	59
	者	3,239		206	18		△164	3,299
視覚障がい者	児	2		—	—		—	2
	者	441		22	—		△14	449
聴覚障がい者	児	15		1	—		—	16
	者	796		60	6		△30	832
言語障がい者	児	2		—	—		—	2
	者	84		3	—		△7	80
内部障がい者	児	27		—	—		△5	22
	者	1,392		146	4		△95	1,447
計	児	108		6	—		△13	101
	者	5,952		437	28		△310	6,107

(2) 等級別交付状況（平成19年3月末現在）

区 分		1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
障がい								
肢体障がい者	児	28	21	8	—	1	1	59
	者	591	751	629	743	403	182	3,299
視覚障がい者	児	—	—	1	—	1	—	2
	者	161	107	49	33	49	50	449
聴覚障がい者	児	—	6	4	2	—	4	16
	者	62	199	108	142	4	317	832
言語障がい者	児	—	1	—	1	—	—	2
	者	—	3	42	35	—	—	80

内部障がい者	児	件 16	件 —	件 5	件 1	件 —	件 —	件 22
	者	784	20	332	311	—	—	1,447
合 計	児	44	28	18	4	2	5	101
	者	1,598	1,080	1,160	1,264	456	549	6,107

2 (1) 身体障害者居宅生活支援事業 (3～9月)

身体障害者居宅サービスの利用について給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定をし給付費の支給を行った。

事業名	実利用 人 数	給付費額	サービス内容
身体障害者居宅介護 (ホームヘルプサービス)	人 71	円 17,930,916	居宅において介護、家事、外出介護等生活全般にわたる援助を行う
身体障害者デイサービス	99	12,509,036	通所により日常生活動作や集団生活への適応等に関する指導及び訓練を行う
身体障害者短期入所 (ショートステイ)	17	3,164,817	介護を行う人の疾病その他の理由により、短期間入所し、適切な支援を行う

(2) 身体障害者居宅生活支援事業 (10～2月)

身体障害者居宅サービスの利用について給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定をし給付費の支給を行った。

事業名	実利用 人 数	給付費額	サービス内容
身体障害者居宅介護 (ホームヘルプサービス)	人 44	円 8,852,086	居宅において介護、家事等生活全般にわたる援助を行う
身体障害者生活介護	32	12,419,224	常に介護が必要な人に、施設で入浴や排泄、食事の介護や創作的活動等の機会を提供する
身体障害者短期入所 (ショートステイ)	15	2,112,549	介護を行う人の疾病その他の理由により、短期間入所し、適切な支援を行う
身体障害者地域活動支援センター	56	486,000	通所により日常生活動作や集団生活への適応等に関する指導及び訓練を行う
身体障害者移動支援	34	2,235,024	屋外での移動が困難な人に、外出のための支援を行う

3 (1) 障害児居宅生活支援事業 (3～9月)

障害児居宅サービスの利用について給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定をし給

付費の支給を行った。

事業名	実利用 人 数	給付費額	サービス内容
障害児居宅介護（ホームヘルプサービス）	人 11	円 3,589,204	居宅において介護、家事、外出介護等生活全般にわたる援助を行う
障害児デイサービス	71	5,714,284	通所により日常生活動作や集団生活への適応等に関する指導及び訓練を行う
障害児短期入所（ショートステイ）	32	2,938,839	介護を行う人の疾病その他の理由により、短期間入所し、適切な支援を行う

(2) 障害児居宅生活支援事業（10～2月）

障害児居宅サービスの利用について給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定をし給付費の支給を行った。

事業名	実利用 人 数	給付費額	サービス内容
障害児居宅介護（ホームヘルプサービス）	人 7	円 1,490,051	居宅において介護、家事等生活全般にわたる援助を行う
障害児デイサービス	67	4,359,729	通所により日常生活動作や集団生活への適応等に関する指導及び訓練を行う
障害児短期入所（ショートステイ）	3	1,691,289	介護を行う人の疾病その他の理由により、短期間入所し、適切な支援を行う
障害児地域活動支援センター	15	712,800	通所により日常生活動作や集団生活への適応等に関する指導及び訓練を行う。また、介護を行う人の疾病その他の理由により、日中に預かり、適切な支援を行う
障害児移動支援	3	435,935	屋外での移動が困難な児童に、外出のための支援を行う

4 身体障害者デイサービス事業（身体障害者デイサービス運営事業）

在宅生活をしている方で体に障がいのある人が社会適応訓練や創作活動等を行うデイサービス事業の運営を委託した。

(1) 身体障害者福祉センターデイサービス運営事業（パソコン教室等）

委託先 伊勢市社会福祉協議会

委託料 12,921,205 円

実利用人数 66 人

利用回数 1,205 回

(2) 重度身体障害者デイサービス運営事業 (くじら)

委託先 伊勢市社会福祉協議会

委託料 49,393,853 円

実利用人数 20 人

利用回数 1,975 回 給食 1,843 回 入浴 257 回 送迎 3,492 回

5 身体障害者福祉センター運営委託事業 (身体障害者デイサービス運営事業)

身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を委託した。

委託先 伊勢市社会福祉協議会

委託料 4,477,000 円

6 日常生活用具給付事業 (身体障害者生活環境等整備事業)

(1) 身体障害者日常生活用具給付

(単位：円)

種 目	対 象 者	区 分	件 数	金 額
特 殊 寝 台	下肢・体幹 2 級以上	給 付	4	572,400
特 殊 マ ッ ト	下肢・体幹 1 級以上	給 付	5	91,040
入 浴 担 架	下肢・体幹 2 級以上	給 付	1	70,200
体 位 変 換 器	下肢・体幹 2 級以上	給 付	1	8,316
浴 槽 (湯 沸 器 含 む)	下肢・体幹 2 級以上	給 付	3	245,700
入 浴 補 助 用 具	下肢・体幹機能障がい	給 付	5	53,645
歩 行 支 援 用 具	下肢・体幹または平衡機能障がい	給 付	1	36,855
頭 部 保 護 帽	平衡、下肢、体幹、知的、精神	給 付	1	10,944
特 殊 便 器	上肢障がい 2 級以上	給 付	1	56,520
火 災 警 報 器	身体 2 級以上	給 付	1	7,350
電 磁 調 理 器	視覚 2 級以上	給 付	2	48,880
聴 覚 障 が い 者 用 屋 内 信 号 装 置	聴覚 2 級	給 付	1	87,400
ネブライザー(吸入器)	呼吸器 3 級以上 又は同程度の身体障がい者	給 付	4	129,315

電気式痰吸引器	呼吸器3級以上 又は同程度の身体障がい者	給付	件 17	円 785,210
盲人用音声式体温計	視覚2級以上	給付	2	17,550
盲人用体重計	視覚2級以上	給付	5	87,780
パーソナルコンピューター（肢体障がい者）	上肢または上肢言語合併2級以上	給付	1	117,950
点字タイプライター	視覚2級以上	給付	1	55,000
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	視覚2級以上	給付	5	228,180
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	視覚2級以上	給付	2	199,050
視覚障がい者用拡大読書器	視覚障がいであって、本装置により文字等を読むことが可能になる者	給付	1	178,200
盲人用時計	視覚障がい2級以上	給付	6	58,990
聴覚障がい者用通信装置	聴覚障がい 発声・発語に著しい障がいを有するもの	給付	3	121,350
人工喉頭（電動式）	喉頭摘出した音声機能障がい者	給付	1	63,090
点字図書	視覚障がい	給付	2	10,900
ストマ用装具	ストマ造設者	給付	281	5,137,021
紙おむつ	高度の排便、排尿機能障がいのある全身性障がい者等	給付	50	1,506,191
居宅生活動作補助用具	下肢・体幹 又は運動機能障がい3級以上	給付	5	679,748
小計	—	—	412	10,664,775
福祉電話基本料金扶助	外出困難な障がい者	給付	1	20,288
合計	—	—	413	10,685,063

(2) 難病患者等日常生活用具給付

種目	対象者	区分	件数	金額
意思伝達装置	言語機能を喪失した人又は言語機能が著しく低下している筋萎縮性側索硬化症等の神経神経疾患患者	給付	件 1	円 453,700

合 計	—	—	1	453,700
-----	---	---	---	---------

7 授産施設関連事業（心身障害者小規模授産所対策事業）

（1）小規模授産所運営委託料・小規模授産事業補助金

在宅で心身に障がいのある人の社会的自立と社会参加の促進を図るため、小規模作業所（ひまわり授産所、工房そみん、さくら園、しらぎく園、ステップワン及び杉の木園の6施設）の運営を行い、福祉の増進を図った。

施設名	設 立 日 設 年 月	設 置 主 体	運 営 主 体	通 所 人 員	主 な 作 業 内 容	委 託 料 又 は 補 助 金
ひまわり授産所	S55.11.1	伊 勢 市	伊 勢 市 社 会 福 祉 協 議 会	人 15	自主製品製造 下請け加工	円 9,944,083
工房そみん	H12.4.1	伊 勢 市	伊 勢 市 社 会 福 祉 協 議 会	8	自主製品製造 古紙回収	11,048,670
さくら園	H1.4.1	伊 勢 市	伊 勢 市 社 会 福 祉 協 議 会	17	自主製品製造 下請け加工	16,698,000
しらぎく園	H7.4.1	伊 勢 市	伊 勢 市 社 会 福 祉 協 議 会	6	自主製品製造 下請け加工	5,988,000
ステップワン	H2.4.22	ステップワン	ステップワン	5	自主製品製造	4,473,000
杉の木園	H2.7.9	手をつなぐ親の会	手をつなぐ親の会	16	自主製品製造 下請け加工	7,396,000

（2）小規模授産所入所負担金

市外の小規模作業所へ通所する障がいのある人について、その入所経費を設置する市町へ負担することにより福祉の増進を図った。

施設名	設 置 主 体	運 営 主 体	通 所 人 員	負 担 金 (玉 城 町)
末 芳 園 (玉 城 町)	末 芳 園 運 営 委 員 会	末 芳 園 運 営 委 員 会	人 2	円 523,600

8 身体障害者施設訓練等支援費事業

身体障害者施設サービスの利用について給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。

(3月～9月)

事業名	支給決定 延べ人数	給付費額	事業内容
身体障害者療護施設支援費事業	人 29	円 63,740,523	常時介護を必要とする障がいのある人が対象で、治療及び養護を行う

身体障害者更生援護施設支援費事業（うち高次脳機能障害者生活支援事業モデル分）	5 (2)	2,894,724 (452,960)	身体機能の維持・向上及び日常動作能力等の治療・訓練を行う
身体障害者授産施設支援費事業（うち相互利用分）	9 (6)	5,403,172 (2,129,247)	自立と社会経済活動への参加に向け、必要な訓練及び職業の提供を行う

(10月～2月)

事業名	支給決定 延べ人数	給付費額	事業内容
旧身体障害者療護施設	人 30	円 45,858,024	常時介護を必要とする障がいのある人が対象で、治療及び養護を行う
旧身体障害者授産施設	9	3,615,525	自立と社会経済活動への参加に向け、必要な訓練及び職業の提供を行う
施設入所支援	5	1,014,147	施設に入所している人に、入浴や排せつ、食事の介護を行う
自立訓練	5	2,313,837	自立した日常生活や社会生活ができるよう身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行う
就労継続支援	1	277,344	事業所で働くことが困難な人に、就労の機会の提供や生産活動等の機会の提供等により訓練を行う

9 身体障害者社会参加促進事業

(1) 重度障害者タクシー料金助成（障害者外出支援事業）

重度の障がいのある人の自立更生、社会参加等を促すため、障がいのある人が利用したタクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。

ア 対象者 身体障害者手帳（下肢・体幹・視覚障がい1級～2級、内部障がい1級）又は療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級～3級の交付を受けている人

イ 交付枚数等 1人につき年間36枚限度とし、乗車1回につき1枚使用

ウ 乗車券交付者 380人

エ 助成額 3,871,700円

(2) 重度身体障害者リフトタクシー助成事業（障害者外出支援事業）

車椅子等でしか移動できない重度の障がいのある人が利用したリフト付きタクシー料金の一部を助成し、経済的負担の軽減及び社会的活動への参加の促進を図った。

ア 対象者 身体障害者手帳（下肢・体幹機能障がい1～3級）の交付を受けている人のうち、外出時に車いす又は移動寝台を必要とする人

イ 交付枚数等 1人につき年間24枚を限度とし、乗車1回につき1枚使用

ウ 乗車券交付者 34人

エ 助成額 323,100円

(3) 障害者スポーツ大会開催事業

障がいのある人の社会参加等を図るため、体育祭を開催した。

ア 日時 平成18年6月24日(土)

イ 場所 県営サンアリーナ

ウ 参加人数 444人(障がい者・家族311人、ボランティア等133人)

エ 負担金 450,000円

10 補装具交付事業

日常生活や社会生活の向上を図るため、補装具の交付等を次のとおり実施した。

(1) 身体障害者補装具の交付及び修理

種 目	区 分	件 数	金 額
義 肢	交 付	7	2,386,559円
	修 理	7	1,303,323
装 具	交 付	24	1,527,977
	修 理	6	176,282
座 位 保 持 装 置	交 付	3	1,124,688
	修 理	1	37,106
盲 人 安 全 つ え	交 付	8	23,989
眼 鏡	交 付	5	129,108
	修 理	1	8,102
補 聴 器	交 付	96	5,316,121
	修 理	14	240,647
車 椅 子	交 付	20	2,819,399
	修 理	25	720,835
電 動 車 椅 子	修 理	4	198,033
歩 行 補 助 つ え	交 付	1	2,600
人 工 喉 頭	修 理	1	5,980

ストマ用装具	交付	668	5,024,890
その他	交付	32	435,194
計	—	923	21,480,833

(2) 身体障害児補装具の交付及び修理

種目	区分	件数	金額
装具	交付	30件	1,973,949円
座位保持装置	交付	3	920,587
	修理	5	639,353
車椅子	交付	8	1,204,740
	修理	3	63,025
電動車椅子	交付	1	407,441
	修理	1	32,815
歩行器	交付	6	191,014
起立保持具	交付	2	56,444
頭部保護帽	交付	5	65,570
補聴器	交付	2	143,722
	修理	3	77,218
その他	交付	97	1,548,367
計	—	166	7,324,245

11 自立更生事業補助金（身体障害者福祉運営対策経費）

市内の身体障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。

(1) 助成団体 8団体

(2) 補助金額 1,145,000円

12 言語機能回復訓練等通園旅費助成事業（障害者外出支援事業）

心身に障がいのある人は、早期発見及び早期治療が必要であるので、その障がいを治療するために県立あすなろ学園及び草の実学園等に通園する児童に対し、その健全育成を図るため、通園旅費を助成した。

- (1) 支給人員 1人
- (2) 助成額 14,800円
- (3) 支給基準 通園先が県内にある場合は旅費の全額を、県外にある場合は旅費の半額を助成し、1人につき月額15,000円を上限とする。

13 身体障害者更生医療給付事業（身体障害者医療給付事業）

身体に障がいのある人の障がいの除去又は軽減を図るため、更生医療費（人工関節置換術・人工透析等、その他適用を受けることができる治療、投薬等の治療にかかる医療費）を次のとおり給付した。

医療費の給付	
診療延べ件数	実人員
219件	34人

事業費 7,959,713円

14 身体障害者福祉対策事業

福祉給付金の支給（障害者手当等給付事業）

本市に住所を有する在宅の、伊勢市家族介護用品支給事業の利用者、伊勢市重度心身障害者紙おむつ等支給事業の利用者を除く1級の身体障害者手帳の交付を受けている人、「A」の療育手帳の交付を受けている人、1級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人のいずれかであり、市町民税非課税世帯に属する人に福祉の増進を図るために福祉給付金を支給した。

区分	対象者数	支給単価	支給金額
前期支給（6月）	98人	12,000円	1,176,000円
後期支給（12月）	99	12,000	1,188,000
計	延べ197	—	2,364,000

(2) 障害者啓発事業

12月3日～9日にわたる「障害者週間」の意義を広く市民に啓発し、ノーマライゼーションの理念を普及するため、街頭啓発と作品展示を実施した。

ア 街頭啓発

(ア) 日時 平成18年12月9日（土）
午前10時～正午

(イ) 場所 ジャスコ伊勢店、イオンララパークショッピングセンター、伊勢みそのショッピングセンター、ユーストア上地店、ベリー小俣店、プライスカ

ット伊勢二見店

(ウ) 配布物品数 1,350 個

イ 作品展示

(ア) 日 時 平成 18 年 12 月 4 日 (月) ~ 8 日 (金)

午前 10 時 ~ 午後 10 時

(イ) 場 所 イオンララパークショッピングセンター

ウ 事業費 210,791 円

15 特別障害者手当等給付事業 (障害者手当等給付事業)

在宅の重度障がい者 (児) に対し、その重度障がいによって生じる負担軽減を図るため、特別障害者手当等を支給した。

手 当 名	手 当 月 額	年 度 末 員	支 延 べ 人 給 員	支 給 金 額
特 別 障 害 者 手 当	円 2.3月 26,520 4月~ 26,440	人 130	人 1,614	円 42,696,000
障 害 児 福 祉 手 当	2.3月 14,430 4月~ 14,380	65	787	11,323,810
福 祉 手 当	2.3月 14,430 4月~ 14,380	16	192	2,762,560
計	—	211	2,593	56,782,370

(支給対象者)

特別障害者手当 … 精神又は身体に重度の重複障がい有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の 20 歳以上の人

障害児福祉手当 … 精神又は身体に重度の障がい有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の 20 歳未満の人

福 祉 手 当 … 20 歳以上で旧制度による福祉手当を受給していた人のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ障害年金も支給されない人

16 重度心身障害者住宅改造補助金 (身体障害者生活環境等整備事業)

重度の心身障がい者が安心して日常生活を過ごせるように、在宅生活を支えるための住宅改造に要した費用について補助を行った。

(1) 補助件数 7 件

(2) 補助金額 1,748,330 円

17 手話通訳設置事業 (身体障害者情報保障事業)

手話通訳者を窓口に設置する事により、コミュニケーションがスムーズになり、聴覚障がい者の社会参加の促進を図った。

窓口対応件数 (4月~3月) 237 件

設置人数 常勤1名（午前8時30分～午後5時15分・月曜日は午後7時まで）
非常勤1名（午前9時30分～午後1時30分）

決算額 4,200,176円

18 手話通訳者派遣事業（身体障害者情報保障事業）

手話通訳者を派遣する事により、聴覚障がい者の社会参加の向上を図った。

通訳者派遣件数 147件

登録通訳者数 19名

決算額 370,660円

19 手話奉仕員養成事業（身体障害者情報保障事業）

手話のできる人を増加することにより、手話通訳者の増員及び手話通訳者派遣事業の充実を図った。（奉仕員：コミュニケーションがとれるもの）

手話奉仕員養成講座基礎課程（4月～11月）6名受講

決算額 308,850円

20 手話通訳者養成講座指導者養成助成事業（身体障害者情報保障事業）

手話通訳者養成のための指導者を増加することにより、手話通訳者派遣事業の充実を図った。

（通訳者：通訳試験に合格した有資格者）

基本課程（神戸会場） 聴覚障がい者1名受講

応用課程（広島会場） 聴覚障がい者2名受講

実践課程（京都会場） 聴者1名受講

講義編（京都会場） 聴覚障がい者1名受講

決算額 704,400円

21 要約筆記者派遣事業（10月スタート）（身体障害者情報保障事業）

要約筆記者を派遣する事により、難聴者・聴覚障がい者の社会参加の向上を図った。

通訳者派遣件数 7件

登録通訳者数 18名

決算額 75,450円

22 要約筆記者養成事業（身体障害者情報保障事業）

要約筆記のできる人を増加することにより、要約筆記者派遣事業の充実を図った。

要約筆記者養成講座基礎課程及び応用課程（9月～3月）22名受講

決算額 1,176,324円

○ 知的障害者福祉関係

1 療育手帳の交付

知的障がいのある人に対して一貫した指導相談及び援護措置を行うため、療育手帳を交付した。

区分 障がい		年度当初 手帳交付数	新交	規付	転入	転 死 変	出 亡 更	年 度 末 手 帳 交 付 数
A (重 度)	児	72 件		3 件	0 件		△10 件	65 件
	者	284		1	0		19	304
B (中軽度)	児	81		13	0		△6	88
	者	267		3	1		△5	266
計	児	153		16	0		△16	153
	者	551		4	1		14	570

2 知的障害者居宅生活支援事業（3～9月）

知的障害者居宅サービスの利用について給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定をし給付費の支給を行った。

事業名	実利用 人 数	支援費額	サービス内容
知的障害者居宅介護事業（ホームヘルプサービス）	17 人	円 2,589,836	居宅において介護、家事等生活全般にわたる援助を行う
知的障害者デイサービス事業	62	15,714,264	通所により日常生活動作や集団生活への適応等に関する指導及び訓練を行う
知的障害者短期入所事業（ショートステイ）	18	4,924,949	介護を行う人の疾病その他の理由により、知的障害者更生施設等に短期間入所し、適切な支援を行う
知的障害者地域生活援助事業（グループホーム）	13	5,111,593	地域において共同生活を営む知的障がいの人に対し、日常生活上の援助を行う

3 知的障害者施設訓練等支援費事業（3～9月）

知的障害者施設サービスの利用について給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。なお、措置の必要な人には措置費を支払った。

事業名	実利用 人 数	支援費額	事業内容
知的障害者更生施設事業	人 118	円 148,353,377	入所及び通所により日常生活における自立と社会参加のための訓練を行う
知的障害者授産施設事業	66	50,263,465	自立と社会経済活動への参加に向け、生産活動の機会の提供、必要な助言・指導を行う
知的障害者通勤寮事業	3	1,114,544	入所することにより、就労している障がいのある人の独立・自活に必要な援助・指導を行う

4 知的障害者介護給付・訓練等給付等事業（10月～2月）

障がい福祉サービスの利用について給付費の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。

事業名	実利用 人 数	支援費額	サービス内容
居宅介護（ホームヘルプサービス）	人 15	円 2,115,612	居宅において介護、家事等生活全般にわたる援助を行う
短期入所（ショートステイ）	11	2,151,810	介護を行う人の疾病その他の理由により、知的障害者更生施設等に短期間入所し、適切な支援を行う
生活介護	3	532,971	常に介護が必要な人に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動等の機会を提供する
療養介護	7	8,569,064	医療が必要で常に介護が必要な人に、医療機関で機能訓練や療養上の管理、看護、介護等を行う
共同生活介護（ケアホーム）	12	4,568,248	共同生活場所で入浴や排せつ、食事の介護を行う
施設入所支援	1	110,817	施設に入所している人に、入浴や排せつ、食事の介護を行う
自立訓練	1	17,523	自立した日常生活や社会生活ができるよう身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行う
就労継続支援	1	499,200	事業所で働くことが困難な人に、就労の機会の提供や生産活動等の機会の提供等により訓練を行う。
共同生活援助（グループホーム）	2	460,161	地域で共同生活を営む人に、日常生活上の援助を行う
地域活動支援センター	50	1,267,513	通所により創作的活動、生産活動の機会の提供、社会との交流促進を行う

移動支援	3	59,004	外出の際の移動の介護を行う
旧知的障害者更生施設	114	111,757,204	入所及び通所により日常生活における自立と社会参加のための訓練を行う
旧知的障害者授産施設	71	37,503,982	自立と社会経済活動への参加に向け、生産活動の機会の提供、必要な助言・指導を行う
旧知的障害者通勤寮	1	424,656	入所することにより、就労している障がい者の独立・自活に必要な援助・指導を行う

5 地域生活援助事業

(1) 知的障害者生活ホーム入所者措置費

就労又は心身障害者小規模授産所に通所している知的障がいのある人に生活の場を提供し、日常生活の援助等を行うため、次の生活ホームに入居し、自立生活の向上を図った。

ア 入居人員

道芝寮 (鳥羽市) 3人

イ 措置費 1,526,400円

(2) 職親措置費

知的障がいのある人を、事業の経営者のもとで自活に必要な生活指導及び技能習得訓練等を行い、雇用の促進と職場における定着性を高めた。

ア 登録者 7人

イ 措置費 2,190,000円

6 障害者自立更生事業補助金 (知的障害者福祉運営対策経費)

市内の知的障害者団体に対して、その活動費等を助成することにより、会員の自立更生を図った。

(1) 助成団体 3団体

(2) 補助金額 485,000円

7 障害児・知的障害者相談支援センター事業 (地域生活援助事業)

高柳商店街に障がい児・知的障がい者の相談受付、情報提供、ケアプラン作成等を行う支援センター「ブレス」を設置し、その運営は知的障害者更生施設を運営する社会福祉法人に委託した。

(1) 委託先 社会福祉法人 三重済美学院

(2) 委託金額 3,331,000円

(3) 委託期間 平成18年4月1日から平成18年9月30日

○ 精神障害者福祉関係

1 精神障害者保健福祉手帳の申請受付及び交付

精神に障がいのある人に対して社会復帰・社会参加の促進を図るため、保健福祉手帳の申請及び交付事務を行った。

等級	18年度		増	減
	平成18年4月当初 手帳交付数	平成19年3月末 手帳交付数		
1級	36件	35件		△1件
2級	242	234		△8
3級	81	100		19
計	359	369		10

2 自立支援医療（精神通院）の受付

在宅で精神に障がいのある人の通院医療を促進し、地域での生活を支援するため、通院医療費公費負担に関する申請及び届出を受け付けた。

平成19年3月末受給者証交付件数	1,042件
------------------	--------

3 精神障害者ホームヘルパーの派遣（精神障害者居宅生活支援事業）

日常生活を営むのに支障がある精神に障がいのある人の家庭に、ホームヘルパーを派遣し、家事、介護等の日常生活の世話をを行い、在宅生活の支援を図った。

派遣対象	身体介護		家事援助等		延べ派遣対象
	実利用人員	0人	実利用人員	15人	
					15人

利用事業所 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会、有限会社 まきの木

事業費 1,671,297円

4 精神障害者授産施設等通所利用扶助金の支給（精神障害者小規模授産所対策事業）

精神障害者小規模作業所等に通所する在宅で精神に障がいのある人に対して通所旅費を助成することにより、社会参加の促進と生活意欲の向上を図った。

	前期 (4月～9月)	後期 (10月～3月)	延べ合計
	対象者数	58人	
助成額	1,196,960円	1,203,650円	2,400,610円

通所事業所 工房ぼちぼち倶楽部<旧ふるさと工房> (伊勢市)、はじまり作業所 (伊勢市)
 Step by Step (伊勢市)、あけぼの園 (松阪市)、
 松阪工作所 (松阪市)、クローバーハウス (津市)

5 精神障害者短期入所事業 (精神障害者居宅生活支援事業)

家族又は生活支援者の疾病や冠婚葬祭等で、一時的に在宅での生活が困難となった精神に障がいのある人に対し、短期間生活訓練施設等での入所介護サービスを提供することにより、障がいのある人及びその家族の負担軽減と精神的な安定を図った。

実施対象	生保以外の社会的理由		生保以外の私的理由		延べ実施数	
	0件	0日	3件	7日	3件 (実利用人員2人)	7日

利用事業所 社会福祉法人 夢の郷 (朝海ハイム)

事業費 41,571円

6 精神障害者地域生活援助事業 (精神障害者居宅生活支援事業)

地域社会での生活を望む精神に障がいのある人が、ケアホーム、グループホームに入居する際、利用料の一部を給付することにより、社会参加の促進と自立の向上を図った。

利用実績	平成18年4月1日～平成19年2月28日		
	ケアホーム	グループホーム	合計利用日数
	553人日	2,094人日	2,647人日 (実利用人員10人)

社会福祉法人四季の里 (GHだんない・GH川島)、特定非営利活動法人グループホームのぞみ (トレニア・はまゆり)、社会福祉法人愛恵会 (竹の子荘・あさがお)、特定非営利活動法人一番ぼし (流れぼし) に介護給付費、訓練等給付費を支出

事業費 5,146,381円

7 障害者小規模作業所運営事業費補助金 (精神障害者小規模授産所対策事業)

小規模作業所に対して、運営事業費を助成することで運営基盤を安定させ、在宅で精神に障がいのある人の社会参加促進及び自立更生を図った。

(1) 補助対象作業所 工房ぼちぼち倶楽部<旧ふるさと工房>、はじまり作業所、
 Step by Step、ゆったりクラブ

(2) 補助金額 15,954,000円

8 障害者小規模作業所施設整備補助金 (精神障害者社会復帰施設整備補助金)

精神に障がいのある人の社会参加を促進するため、小規模作業所の施設整備を行う人に対して補助金を交付し、地域社会における社会適応や作業訓練等の場の確保を図った。

(1) 補助対象作業所 こころの健康施設 (作業所) Step by Step

(2) 補助金額 13,030,000円

○ 障害者自立支援法関係

1 障害程度区分認定審査会の状況

障害者自立支援法及び伊勢市障害者介護給付費等の支給に関する審査会条例に基づき、伊勢市介護給付費等の支給に関する審査会を設置し、障害程度区分認定等に係る審査業務を行った。

- (1) 委員数 10人（2合議体、1合議体5人で構成）
- (2) 委員構成 内科医師2人、精神科医師2人、医療ソーシャルワーカー2人
障害者相談支援員2人、障害者施設職員2人
- (3) 開催回数 20回
- (4) 判定件数（平成18年7月～平成19年3月）

非該当 (件)	区分1 (件)	区分2 (件)	区分3 (件)	区分4 (件)	区分5 (件)	区分6 (件)	計 (件)
0	3	40	62	68	33	51	257

2 認定調査の状況

障害者自立支援法に基づき、障害福祉サービス利用申請者の訪問調査を実施した。（平成18年6月～平成19年3月）

- (1) 調査件数 270件（含、訓練等給付のみを利用する人13件）
- (2) 調査員数 専門調査員（市嘱託職員）1人（専門調査員の外、職員も実施。）

3 障害者地域生活相談支援事業

高柳商店街に設置されている相談支援センター「プレス」の運営を社会福祉法人へ委託し、巡回や訪問、来所、電話等により相談支援を受け付け、福祉サービスに関する情報提供、ケアマネージメント等を行った。なお、これまでは障害児・知的障害者相談支援センター事業としていたが、障害者自立支援法の施行によりそれぞれの市町で3障がい共通の相談支援センターを設置する必要があったため、新たに障害者地域生活相談支援事業を設置したものである。

- (1) 委託先 社会福祉法人 三重済美学院
- (2) 委託金額 6,488,400円
- (3) 委託期間 平成18年10月1日から平成19年3月31日